

会 告 目 次

研究発表会開催通知	2
第 85 回 データベース・システム研究会	} 合同
第 4 回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	
第 81 回 ソフトウェア工学研究会	3
第 82 回 計算機アーキテクチャ研究会	3
第 59 回 設計自動化研究会	4
第 69 回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会	5
第 11 回 人文科学とコンピュータ研究会	6
第 36 回 情報システム研究会	6
第 38 回 数値解析研究会	7
第 53 回 グラフィクスと CAD 研究会	7
第 11 回 音楽情報科学研究グループ	8
第 43 回 全国大会（平成 3 年後期）参加について	9
「利用者指向の情報システム」シンポジウム開催について	9
第 43 回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について	12
奨励賞候補の推薦について	14
第 44 回 全国大会実施要領	15
会員名簿（平成 3 年版）の予約について	19
「マイクロコンピュータ・アーキテクチャ」シンポジウムの開催について	22
日韓コンピュータビジョン共同会議(CV '91)	24
「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について	25
本会協賛等の行事案内	26
「B-ISDN 時代におけるマルチメディア通信と分散処理シンポジウム」	
開催について	28
「第 33 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ	30
大学等における情報処理教育のための調査研究報告書頒布のお知らせ	32
「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム	33
小規模国際会議論文募集	34
第 8 回 色彩工学コンファレンス	35
第 22 回 画像工学コンファレンス	37
International Symposium on Supercomputing	41
特集 グラフィクス論文募集	44
支部だより	44
会 議 案 内	46
教 官 募 集	48
雑 報	49
編 集 室	50

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成 3 年 9 月 15 日～10 月 31 日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
ア ル ゴ リ ズ ム	9 月 19 日 (木) 9 月 20 日 (金)	10 : 00～17 : 00 10 : 00～17 : 00	宮 崎 大	前号参照
自 然 言 語 処 理	9 月 19 日 (木) 9 月 20 日 (金)	13 : 00～17 : 15 10 : 00～15 : 40	東 北 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	9 月 20 日 (金)	9 : 30～16 : 20	東 工 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	9 月 20 日 (金)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
マルチメディア通信と分散処理	9 月 24 日 (火) 9 月 25 日 (水) 9 月 26 日 (木) 9 月 27 日 (金)	13 : 00～17 : 00 9 : 00～17 : 00 9 : 00～17 : 00 9 : 00～15 : 00	NTT (札幌)	同 上
データベース・システム プログラミング } 合同 一言語・基礎・実践 }	10 月 4 日 (金)	9 : 30～17 : 00	機械振興会館	下記参照
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	10 月 4 日 (金)	10 : 30～17 : 00	慶 大	同 上
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	10 月 7 日 (月)	10 : 00～17 : 30	東 大	同 上
設 計 自 動 化	10 月 8 日 (火) 10 月 9 日 (水)	13 : 10～16 : 40 9 : 00～16 : 40	機械振興会館	同 上
マイクロナンピュータと ワークステーション	10 月 11 日 (金)	13 : 30～17 : 00	東 北 大	同 上
人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ	10 月 14 日 (月)	10 : 00～15 : 30	大 日 本 印 刷	同 上
情 報 シ ス テ ム	10 月 15 日 (火)	13 : 00～17 : 00	機械振興会館	同 上
数 値 解 析	10 月 19 日 (土)	13 : 00～17 : 20	名 大	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	10 月 23 日 (水)	10 : 30～15 : 30	同 上	同 上

◆ 第 85 回 データベース・システム研究会
◆ 第 4 回 プログラミング一言語・基礎・実践研究会 } 合同

(発表件数 : 7 件)

DBS (主査 : 増永良文, 幹事 : 北川博之, 田中克己, 鶴岡邦敏)

PRG (主査 : 安村通見, 幹事 : 久世和資, 萩谷昌己, 松岡 聡)

日 時 平成 3 年 10 月 4 日 (金) 9 : 30～17 : 00

会 場 機械振興会館 6 階 66 号室

(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄 : 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR : 浜松町下車,
バス : 渋谷一東京タワー線東京タワー, 渋谷一東京駅八重洲線虎ノ門丁 5 目下車. Tel. 03 (3434) 8211)

議 題 特集 : プログラミング言語とデータベース

— 9 : 30～11 : 30 —

(1) ストロークデータのファイル構造と管理プログラム

森田利広, 守屋慎次 (電機大)

〔概要〕 MS-DOS 上でストロークデータとテキストデータを扱うファイル構造と, その管理プログラムを提案
する。

(2) ディクショナリをベースにした NATURAL による第4世代アプリケーション開発

吉鋪紀子 (ソフトウェアエージャー)

〔概要〕 ディクショナリとの統合によるアプリケーション開発の方法を第4世代言語 NATURAL の機能とあわせ述べる。

(3) 自然言語における知識獲得のメカニズム

安藤司文 (長崎大)

〔概要〕 自然言語には意味を正確に表現する概念構造が内在する。これを用いた知識獲得について報告する。

—13:00~15:00—

(4) プログラムジェネレータの自動生成

田中伸明 (松下電器)

〔概要〕 属性文法を用いた仕様記述からプログラムジェネレータを生成する方式について述べる。

(5) 並列オブジェクト指向言語のための並列制御機構

脇田 建, 松岡 聡, 米澤明憲 (東大)

〔概要〕 一般の並列オブジェクト指向言語のための非同期通信をサポートした強力な入れ子トランザクション機構の提案。

(6) 持続的オブジェクトの計算モデルについて

箕原辰夫 (慶大)

〔概要〕 異なる計算方法を持つ持続的オブジェクトを構築することができる。接続を基本とした計算モデルを提唱する。

—15:15~17:00—

(7) パネル討論: 永続的プログラミング言語とオブジェクト指向データベース

◆ 第81回 ソフトウェア工学研究会

(予定発表件数: 5件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大蒔和仁)

日 時 平成3年10月4日 (金) 10:30~17:00

会 場 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス AV ホール

〔藤沢市遠藤 5322, 小田急 (江ノ島線): 湘南台 (西口) 下車, バス: 慶応大学行 (15~20分), または JR (東海道線): 辻堂 (北口) 下車, バス: 慶応大学行 (20~25分). Tel. 0466 (47) 5111〕

議 題

(1) プログラムの設計レビューシステム

大場克彦, 二木敬一, 井上信介, 金戸孝夫 (島津製作所)

〔概要〕 設計書の記述形式を厳密に定め, 人間が犯し易い設計エラーを計算機で検出するシステムを開発した。

(2) モジュール構造設計支援機能の提案

西永誠司, 山本修一郎, 磯田定宏 (NTT)

〔概要〕 データフロー図からコーディングに適したモジュール構造を設計する作業の支援機能についての提案を行う。

(3) CASE 指向抽象ソフトウェアモデル (Ⅲ) —オブジェクト指向との結び目—

松本憲幸, 岡山 敬, 湯原義彦 (東芝)

〔概要〕 構造化分析情報を記号化したモデルのオブジェクト指向分析に対する適用性について説明する。

(4) ソフトウェア設計における設計履歴情報の蓄積・活用

島 健一 (NTT)

〔概要〕 設計過程での問題点, 判断の根拠などを履歴情報として記録し, 再利用する研究事例の調査報告をする。

(5) ソフトウェア開発を対象としたコーディネーション

政谷好伸 (NTT)

〔概要〕 Coordinator をソフトウェア開発作業に適用する際の問題点について考察し解決策を提案する。

※ 今回の研究会は電子情報通信学会 (ソフトウェアサイエンス研究会) との共催で開催されます。上記会告は 7 月 31 日現在の申込みによるもので上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 9 月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第82回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 富田真治, 幹事: 後藤厚宏, 村上和彰, 横田 実)

日 時 平成3年10月7日 (月) 10:00~17:30

会 場 東京大学 生産技術研究所 第2会議室

〔東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄: 千代田線乃木坂下車すぐ, 日比谷線六本木下車, 徒歩6分。

Tel. 03 (3402) 6231〕

議 題 特集：データベース応用指向アーキテクチャ、(超/高/中)並列 DB アルゴリズム、ディスクアレイ
ならびに性能評価

—10:00~12:00—

- (1) 高速ハードウェアソータを用いた SQL システムの実現 伏見信也 (三菱電機)
〔概要〕 ハードウェアソータを用いた SQL システムの実現方式、最適化手法等につき報告する。
- (2) リレーショナルデータベースマシン RINDA におけるサーチ処理方式 速水治夫, 佐藤哲司, 黒岩淳一, 中村敏夫 (NTT)
〔概要〕 RINDA のサーチ処理における探索条件判定方式、および複数 DK に対する並列サーチ方式を述べる。
- (3) ドラゴンネットを用いた並列ソート 野口泰生 (富士通研)
〔概要〕 ブロックバイトニックソートによるキーソートと全対全通信によるレコード再配置を行う並列ソート法について。
- (4) 高速フィルタリングプロセッサの方式と性能評価 土田正士, 河村信男, 中野幸生, 武藤英男, 北嶋弘行, 米田 茂 (日立)
〔概要〕 高速フィルタリングプロセッサを適用した DBMS を開発した。各種モデルで性能を評価した結果を報告する。

—13:00~15:30—

- (5) データベース演算処理装置のアーキテクチャ 松田 進, 東郷一生, 島川和典, 岩崎孝夫 (東芝)
〔概要〕 TP ホストコンピュータ TP 90 の DB プロセッサ「DBE 演算装置」のアーキテクチャおよび性能に関して発表する。
- (6) データベース処理ハードウェア 工藤哲郎 (富士通)
〔概要〕 ディスク上のデータベース処理を高速化するための専用ハードウェアの紹介。
- (7) テキスト DB マシンと検索プロセッサのアーキテクチャ 高橋恒介, 山崎哲夫, 西塚博文, 本村真人 (日電)
〔概要〕 シリコンファイルを用いるテキスト DB マシンとそこで使用する検索プロセッサのアーキテクチャを述べる。
- (8) ワークステーション内蔵型フルテキストデータベースプロセッサ SDP 菅野祐司, 安藤敦史, 伊藤正雄, 田村 登, 霧林 健 (松下電器)
〔概要〕 ワークステーション上の文書ファイルに対し、多彩な全文検索を高速に行う SDP の機能と処理方式を報告する。
- (9) 高可用性の商用 DBMS 小島國照 (日本タンデムコンピューターズ)
〔概要〕 高パフォーマンスと可用性を目標とした DBMS の例として NS-SQL を紹介する。特に運用面の機能を解説。

—16:00~17:30—

- (10) パネル討論：ディスクアレイの現状と展望 司会：喜連川優 (東大)
パネリスト：金子 悟 (富士通), 中村俊一郎 (三菱電機), 山本 彰 (日立), 辻澤隆彦 (日電)
*今回の研究会は電子情報通信学会 (データ工学研究会) との共催で開催されます。
*IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第59回 設計自動化研究会

(発表件数：14 件)

(主査：小澤時典, 幹事：川戸信明, 佐藤政生, 村岡道明)

日 時 平成3年10月8日 (火) 13:10~16:40
9日 (水) 9:00~16:40

会 場 機械振興会館 6階 67号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集：設計とテスト

10月8日 (火)

- (1) 多重入力シグネチャレジスタによる VLSI 自己テストに関する一考察 森井昌克, 谷川晃一 (愛媛大), 岩崎一彦 (千葉大)
〔概要〕 多項式基底よりエイリアス確率が低くなる基底の存在を示し、そのシグネチャ回路を導出する。

(2) 最小故障見逃し率を保証する複数シグネチャ解析

鯨島康則 (NTT)

〔概要〕 許容観測数内で最小の故障見逃し率を達成する複数シグネチャ解析の観測タイミング決定法と効果を報告する。

(3) 大容量 ROM に適した BIST 構成法

馬場龍雄, 小倉 武 (NTT)

〔概要〕 多ビット一括テスト可能な回路構成を考案し, テスト時間削減の効果とオーバーヘッドについて報告する。

(4) テスト容易な PLA の設計アシスタントシステム

牧田智弘, 大島典幸, 山田輝彦 (明大)

〔概要〕 与えられた制約条件下で最適なテスト容易化設計法を選択するときの手助けをするシステムについて述べる。

(5) On the complexity of some classes of AND-EXOR expressions

笹尾 勤 (九工大)

〔概要〕 7 種の AND-EOR 形論理式を定義し, その複雑度を比較する。

10 月 9 日 (水)

—9:00~11:50—

(6) 部分スキャン設計に関する一考察

濱田周治, 相京 隆, 町田泰秀 (富士通)

〔概要〕 可制御性と可観測性のあるセルフループ以外のループを削除するように F/F をスキャン化する手法を示す。

(7) 実数値シミュレーションを利用した順序回路テスト生成手法

彦根和文, 畠山一実, 林 照峯 (日立), 高倉正博 (日立エンジニアリング)

〔概要〕 実数値シミュレーションを利用した収束演算処理により, 同期式順序回路のテスト系列を生成する。

(8) 順序回路の ATPG における検出率向上手法

太田光保, 細川利典, 本原 章 (松下電器)

〔概要〕 従来の PTP 法を用いた ATPG の欠点を改善する手法と実験システムによる評価結果について述べる。

(9) 組み合わせ回路における多重短絡故障の診断法

山崎浩二 (明大)

〔概要〕 ワイヤド AND として機能する多重短絡故障をプローブと合意の繰返しにより診断する方法について述べる。

—13:10~16:40—

(10) TTL 組合せ論理回路の電源電流による故障検出のための検査入力生成法

月本 功, 橋爪正樹, 為貞建臣 (徳島大)

〔概要〕 TTL 組合せ回路の電源電流による故障検出のための検査入力生成法とその評価結果について報告する。

(11) 論理回路の正常時・故障時電源電流波形差による故障検出

福井孝司, 橋爪正樹, 為貞建臣 (徳島大)

〔概要〕 論理回路の正常時電源電流波形との差による故障検出を行う方法を提案し, 実験による評価結果を報告する。

(12) ボルツマンマシンの耐故障性について

当麻善弘, 岡田 勲 (東工大)

〔概要〕 ボルツマンマシンのハードウェア化にともない生じる故障や誤差の影響を巡回行商人問題として調査した。

(13) 正則時相論理を用いた二重系照合回路のフェールセーフ性の形式的検証

川久保和男 (福山大), 平石裕実 (京産大)

〔概要〕 二重系構成における照合回路のフェールセーフ性の形式的検証を正則時相論理により行った結果を報告する。

(14) 代数的手法を用いたマイクロプログラム制御方式順序回路の設計例

檜原孝一, 北道淳司, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

〔概要〕 クイックソート IC の要求仕様からマイクロプログラムまでの設計を代数的手法により行った結果を報告する。

*今回の研究会は電子情報通信学会 (フォールトトレラントシステム研究会) との共催で開催されます。

◆ 第 69 回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 加藤肇彦, 幹事: 金子博昭, 氷治義弘, 山田 剛)

日 時 平成 3 年 10 月 11 日 (金) 13:30~17:00

会 場 東北大学 大型計算機センター 大会議室

〔仙台市青葉区片平 2-1-1, JR: 仙台下車, 地下鉄: 五橋下車, 徒歩 5 分 (仙台駅より車で約 10 分)。

Tel. 022 (227) 6200)

議 題 特集：支援ツールと開発環境

- (1) チュートリアル：Ada の最近の動向

田中 清 (NTT)

〔概要〕 組込型マイクロコンピュータシステム用ソフトウェア記述言語としての Ada の技術動向等についての解説。

- (2) OSI 環境下での PC 間通信

グレン・マンスフィールド, 藤井章博, 岡部公起, 根元義章 (東北大)

〔概要〕 OSI 環境下の学内ネットワークでの PC 間通信用ソフトウェアの設計開発について報告する。

- (3) プログラマブル周辺デバイス応用支援システム

水本勝也, 岩男剛宜, 佐藤知昭, 大原茂之, 小高明夫 (東海大)

宇賀神孝 (アンドールシステムサポート)

〔概要〕 プログラム可能な周辺デバイスを, 使用経験がなくても利用可能とする電子マニュアルについて述べる。

- (4) ソフトウェア開発の問題と TS チャートの導入

石島敏夫, 小林正道 (アライド情報システム)

〔概要〕 ソフトウェア開発現場の問題点と, その対応としての TS チャートの導入およびツール化の事例を紹介する。

- (5) リアルタイムシステム・デバッグ環境の試作

橋本一也, 平松健司, 古城 隆 (日電)

〔概要〕 リアルタイムシステムを対象とするデバッグ環境の具備すべき条件とその実現について述べる。

◆ 第 11 回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 杉田繁治, 幹事: 及川昭文, 小沢一雅, 洪 政国)

日 時 平成 3 年 10 月 14 日 (月) 10:00~15:30

会 場 大日本印刷 研修会館

〔東京都新宿区加賀町 1-1-1, JR: 市ヶ谷下車, 地下鉄 (有楽町線): 市ヶ谷 (池袋寄出口) 下車, 徒歩 3 分。

Tel. 03 (3266) 4937 (研修会館受付)〕

議 題 特集：コンピュータの光と影

—10:00~12:00—

- (1) 読書とコンピュータ —機械可読テキストで本が読めるのか—

當山日出男 (奈良円満寺)

〔概要〕 口承→写本→版本→活字, さらにコンピュータというメディアの変革と読書を考察する。

- (2) 聖書とコンピュータ

伊藤利行 (岡崎学園短大)

〔概要〕 聖書言語の語義域分析にコンピュータを用いている。その問題設定と研究上の基本的問題点について論ずる。

- (3) コンピュータは教育に何をもたらしたか —コンピュータ利用教育の光と影—

上窪真一 (日電)

〔概要〕 幼児・学校教育におけるコンピュータ利用の長・短所の分析と, 今後のコンピュータ利用教育の有効性を述べる。

—13:30~15:30—

- (4) クリエイティブな作業におけるコンピュータと感性のフジテレビ的共存

佐藤浩喜 (フジテレビ)

〔概要〕 “光ある所に影あり” とは限らない。テレビ番組の編成・制作とコンピュータという両極に位置するものの共存のあり方を考える。

- (5) 芸術とテクノロジー

土佐尚子 (武蔵野美大)

〔概要〕 CG やビデオデザインに関する作品創作の経験をととして, 芸術とテクノロジーの接点, 可能性, 違和感等を検討する。

- (6) 情報の生態学

長尾 真 (京大)

〔概要〕 情報は人間にとって環境となっている。その影響がどのような場合に, どのように表われるかを研究する必要がある。

◆ 第 36 回 情報システム研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 伊吹公夫, 幹事: 槻木公一, 西原良一, 初瀬川茂)

日 時 平成 3 年 10 月 15 日 (火) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集: EDI 標準化の現状と動向

- (1) EDI の生い立ちとわが国での概況 三木良治 (JIPDEC)
〔概要〕 EDI 発想の背景, その後の EDI 実用化へ向けてのアプローチ, およびわが国での現在の普及状況について概説する。
- (2) 日本電子機械工業会 (EIAJ) における EDI 標準化 大久保秀典 (東芝)
〔概要〕 電子機器業界における EDI 標準化活動の状況と, 国家および国際標準対応への考え方と取り組み状況を解説する。
- (3) 家電製品を中心とした流通業の EDI 関根直弘 (日立情報システムズ)
〔概要〕 流通業界の中でもとくに家電製品の流通における EDI を中心に, 現状と課題について具体例により紹介する。
- (4) 運輸業界におけるデータ交換 鈴木信雄 (熊本商大)
〔概要〕 運輸業界, 特に陸上貨物を中心にデータ交換に関する動向と問題点を標準化という観点から概観する。
- (5) 金融業界の EDI 高柳正雄 (金融情報システムセンター)
〔概要〕 金融業界における EDI の現状とその経緯について解説し, 今後の課題と展望についても若干の説明を加える。
- (6) 航空業界における EDI の推進状況 太田可允 (日本 IBM)
〔概要〕 航空業界における EDI の重要性が認識され, 標準化の活動が進められている。これらの動向について報告する。

◆ 第 38 回 数値解析研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 浜田穂積, 幹事: 関口智嗣, 土谷 隆, 吉原郁夫)

日 時 平成 3 年 10 月 19 日 (土) 13:00~17:20

会 場 名古屋大学 工学部 情報工学教室

(名古屋市千種区不老町, JR: 名古屋下車, 地下鉄 (東山線): 本山下車, 徒歩 15 分. Tel. 052 (781) 5111)

議 題

- (1) 固有値問題の高速算法 別府良孝 (聖徳女短大)
〔概要〕 密行列の対角化に関する基本算法を概説し, QR 法やホモトピー法に関する最近の研究成果を発表する。
- (2) べき乗法による行列の非負分解 村上 純, 鄧 天波, 田所嘉昭 (豊橋技科大)
〔概要〕 デジタルフィルタの設計に用いられる行列の非負分解をべき乗法により効率的に行う手法を考案した。
- (3) 代用電荷法に基づく統一的な数値等角写像の方法 天野 要 (愛媛大)
〔概要〕 代用電荷法に基づいて, 問題領域から標準領域への 3 種の等角写像の統一的な数値計算法を提案する。
- (4) 7 段数 6 次および 9 段数 7 次陽的 Runge-Kutta 法の安定性 田中正次, 山下 茂, 岩田 享, 三吉広美, 久保栄一, 野崎雄一 (山梨大)
〔概要〕 7 段数 6 次および 9 段数 7 次陽的 Runge-Kutta 法における安定性のすぐれた公式の提案。
- (5) IBM RS/6000 のスーパースカラに適したプログラミング 寒川 光 (日本 IBM)
〔概要〕 IBM のワークステーション, RS/6000 のスーパースカラの特徴を活かしたプログラミング。
- (6) ガンマ関数の高精度計算 平山 弘 (神奈川工科大)
〔概要〕 ガンマ関数の多倍長高精度計算方法について述べる。
- (7) IEEE 準基本数学関数パッケージ 二宮市三 (中部大)
〔概要〕 IEEE 方式の計算機のために, フォートランと C 言語で書かれた準基本数学関数ルーチン集。

◆ 第 53 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 中嶋正之, 幹事: 宇野 栄, 西原清一, 間瀬健二)

日 時 平成 3 年 10 月 23 日 (水) 10:30~15:30

会 場 名古屋大学 大型計算機センター 4 階 演習室 (所在地は前記参照)

議 題

—10:30~12:00—

- (1) 特別講演: これからの画像情報圧縮 谷本正幸 (名大)

〔概要〕 一応のレベルに達した画像情報圧縮を眺め直し、これからの新しい展開に何が重要かを考える。

(2) は虫類皮革の質感表現の一手法 東海彰吾, 安田孝美, 横井茂樹, 鳥脇純一郎 (名大)

〔概要〕 ボロノイ分割を利用した皮革の質感表現のための一手法について述べ、製品などへの適用例を紹介する。

—13:00~15:30—

(3) 動画像合成による景観シミュレーション 曾山 豊, 鳥脇純一郎 (名大), 岡本 敬 (ダイキン工業)

〔概要〕 VTR から取り込んだ連続画像とコンピュータモデルとを合成し、合成 VTR を作成する手法を開発した。

(4) 動的部分木を用いた光線追跡法 成瀬 正, 新谷幹夫, 斉藤隆文 (NTT)

〔概要〕 与えられた木構造データから動的に部分木を作り、部分木を用いて光線追跡する手法について述べる。

(5) SIGGRAPH '91 の視察報告 近藤邦雄 (埼玉大)

〔概要〕 SIGGRAPH '91 の研究発表、展示会の内容について報告する。

(6) 標準立体データベースについて

柿本正憲 (富士通研), 間瀬健二 (NTT), 中嶋正之 (東工大), 宇野 栄 (日本IBM), 西原清一 (筑波大)

〔概要〕 CG および CV の分野における研究の促進を目的とする立体データベースについて述べる。

◆ 第11回 音楽情報科学研究グループ

(発表件数: 4 件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成3年10月26日(土) 13:20~16:40

会 場 都立芸術劇場内 5階 大会議室

〔東京都豊島区西池袋 1-8-1, JR: 池袋(南口)下車, 地下通路から西口公園方面を出て徒歩1分。

Tel. 03 (5391) 2111)

議 題

(1) シーケンサ制御による自動演奏の可能性と問題点 長崎幹彦 (清泉女学院短大)

〔概要〕 電子楽器について、今までの体験の中からの疑問・問題点を提起しつつ、楽器としての新しい位置を模索する。

(2) ケプストラム法による楽音分析の試み 千葉健司 (富士ゼロックス)

〔概要〕 音声信号処理に用いられるケプストラム法と、これを楽音分析へ適用した例について述べる。

(3) プロダクト核を持つ時間周波数表現 一理論とピアノ音への応用— 長沼大介, 中村 勲 (帝京技科大)

〔概要〕 Cohen による一般化された時間周波数表現のなかで、プロダクト核を持つものの性質と応用例を示す。

(4) Acoustical Society of America 121th Meeting 参加, および Catgut Acoustical Society Meeting 参加
報告記 久保田秀美 (キヤノン), 近藤正夫 (ロゲルグ研究所)

〔概要〕 4月末から5月頭にかけて行われた ASA Meeting (バルチモア) と CAS Meeting (アナポリス) に参加したので概要を報告する。

*日本音響学会 (音楽音響研究会) との共催で開催します。

*問合せ先: 松島俊明 (東邦大) Tel. 0474 (72) 1141 内 3473

◆情報メディア研究会

第4回 研究会を下記のとおり開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成3年11月8日(金) 10:20~17:00

会 場 NTT 横須賀研究センター

議 題 特集: マスメディアと個人情報空間

情報処理学会 第 43 回 全国大会（平成 3 年後期）参加について

開催期日 平成 3 年 10 月 19 日（土）～22 日（火）

会場 名古屋大学工学部（名古屋市千種区不老町）

プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラムの会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. 総受付 7 号館 1 階玄関ロビー

2. 参加費 会員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）

非会員 2,000 円（ただし電気、電子情報通信、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。
会員番号を申し出てください。）

学 生 無料

3. 論文集 定価 6,000 円（予約は締切りました。）

（当日お領けできるのは、残部のある場合に限りです。）

◎ 参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

- 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
- 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
- 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします（都合により 13 分のセッションもあります）。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
- 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
- 講演の代読は認めません。

奨励賞の表彰

20 日（日）午後第 42 回全国大会奨励賞受賞者の表彰を A 会場で行います。

（その他の一般注意）

- 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
- 電話の呼び出しはいたしません。（万一やむを得ない場合のみ、伝言板に掲示：Tel. 052 (783) 4374）。
- 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。

「利用者指向の情報システム」シンポジウム 開催について

情報システムが個人から一般社会にいたるさまざまな組織に広く普及・浸透してきた今日、利用者を指向した情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっています。この課題に取り組むには、組織と情報システム双方における情報の生産・流通・利用過程の絡みを幅広い視点から捉えて、情報システムの設計と構築を論じる必要があります。

以上の観点から、本シンポジウムでは、利用者指向の情報システムの計画・分析・設計・評価の方法論、ならびにその具体的な適用事例や研究動向、開発事例などについて、発表・討論を行う予定です。この問題に関心を持つ研究者、利用者、設計・開発者、運用者の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 平成 3 年 11 月 29 日（金）9：40～19：00 30 日（土）9：40～16：20

場 所 日本ユニシス本社（107 東京都港区赤坂 2-17-51） Tel. 03 (3585) 4111（代）

地下鉄 千代田線赤坂下車 5 番出口より徒歩 5 分

都営バス（都 01）新橋駅発渋谷駅行（六本木経由）赤坂 2 丁目下車徒歩 5 分

参加費 正会員 10,000 円、非会員 15,000 円、学生会員 1,500 円（論文集のみ 5,000 円）

懇親会 発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。会費 3,000 円（参加費と一緒に申し込めください。）

申込締切 平成 3 年 11 月 15 日（金）

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 11月29日(金)

開会の辞(9:40~9:50)

伊吹 公夫(東京工科大)

招待講演(9:50~10:50)

司会 伊吹 公夫(東京工科大)

- 情報システムにおける標準化の諸問題

高橋 茂(東京工科大)

—休憩(10分)—

セッション1(11:00~12:30)

座長 西原 良一(日本ユニシス)

- オープンシステム環境における統合OAシステムの開発と運用
- 企業国際トライアングル網の構築
- これからの企業内情報システムについて

渡辺 隆, 二階堂徳也(JR総研)

安藤 均(NTT)

小西 尚武(東レ)

—昼食(60分)—

セッション2(13:30~15:00)

座長 高橋 富夫(富士通)

- カード操作ツールを用いた要求分析と機能設計の事例研究—共通問題「在庫管理システムの作成」の設計—  
土屋 光一, 塩見 彰睦, 竹田 尚彦, 河合 和久, 大岩 元(豊橋技科大)
- エキスパートシステムを適用した利用者指向の情報システムの開発について 上西 勝也(関西電力)
- コンピュータマッピングをベースとしたガス本支管設計システムの開発について

中津川 淳, 安藤 宜明(東京ガス)

—休憩(20分)—

パネル討論会(15:20~17:20)

司会 鷹野 澄(東大)

- 情報システム設計と新しい情報技術

稲泉 成彦(日本ユニシス), 東明佐久良(東京ガス),

竹下 亨(日本IBM), 橋本 茂司(東レ)

—休憩(10分)—

懇親会(17:30~19:00)

第2日 11月30日(土)

セッション3(9:40~11:10)

座長 松谷 泰行(多摩大)

- モデル記述言語Object-Zの味見

谷津 弘一(日本ユニシス)

- 情報モデルをめぐる一考察—情報システムにおける情報表現の諸問題—

中嶋 聞多(日立)

Vol. 32 No. 9

- 大学における情報システム教育とそのカリキュラム「情報システムの教育体系の確立に関する総合的研究」

中間報告

浦 昭二(慶大), 神沼 靖子(帝京技科大)

—休憩(10分)—

セッション4(11:20~12:20)

座長 初瀬川 茂(東芝)

- 利用者指向手法による「総合OAシステム」の開発

山形 毅章(西日本旅客鉄道)

- 電通マーケティング情報センター

—徹底した利用者サービスが情報システムを活性化する—

柴田 亮介(電通)

—昼食(70分)—

セッション5(13:30~14:30)

座長 槻木 公一(JR総研)

- 日本語プログラミング環境のためのエディタの開発と評価

宮脇富士夫, 佐藤 邦弘(姫路工大)

- 航行めがねによる人間行動実時間支援システムの構築

大座畑重光(マッキンゼリジェンズ)

—休憩(20分)—

セッション6(14:50~16:20)

座長 岩丸 良明(太陽神戸三井総研)

- 中小企業におけるパソコン活用の方策

古関 政(群馬情報電子専門学校), 町田 庄吉(プランニング)

- 国文学研究支援のための情報システム

安永 尚志(国文学研究資料館)

- SISの現状と展望

米川 清(三井情報開発), 会田 邦夫(産能短大)

閉会(16:20)

「利用者指向の情報システム」シンポジウム

参 加 申 込 書

平成 3 年 日 月

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

＊参加費には，資料代が含まれています。

○懇親会費（3,000 円） \_\_\_\_\_ 名

○資料のみ（5,000 円，送料込） \_\_\_\_\_ 冊

○送金方法

＊ \_\_\_\_\_ 円を a) 当日，会場受付にて支払います。

b) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

＊（b を選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
（社）情報処理学会 シンポジウム係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京 4298739  
営業部

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

＊請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注）申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申 込 先

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

属所名 \_\_\_\_\_

フリガナ

氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 第43回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について

本会では、前回から全国大会の前日にチュートリアル・セッションを開催することになりました。多数の会員が一堂に会する機会にチュートリアル・セッションを開催し、会員の方々の関心のあるテーマを取りあげ、理解を深めたいと考え、この分野の第一線で活躍の専門家により、最新の技術、さらには将来展望をも含めたチュートリアル・セッションを考えております。

つきましては、標記チュートリアル・セッションを下記により企画いたしました。この機会に奮ってご参加されるようお勧めいたします。

日 時 平成3年10月19日(土) 10:00~17:00  
場 所 名古屋大学工学部7号館(名古屋市千種区不老町)  
参 加 費 会員 10,000円 非会員 15,000円 学生 1,500円  
(どのセッションも聴講できます。)  
(資料のみ 4,000円, 送料込)  
申込締切 平成3年9月20日(金)

### ~~~~~プログラム(予定)~~~~~

#### T1: 自然言語処理の基礎と応用

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 解 析       | 丸山 宏(日本IBM) |
| 2. 生 成       | 徳永 健伸(東工大)  |
| 3. 応 用(機械翻訳) | 中村 順一(九工大)  |

#### T2: OSI

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
|                     | 司会 河岡 司(NTT) |
| 1. OSIの仕組み          | 田畑 孝一(情報大)   |
| 2. OSIの標準化動向とシステム管理 | 森野 和好(NTT)   |
| 3. OSI上位層プロトコル      | 小花 貞夫(KDD)   |
| 4. 形式記述技法のOSIへの適用   | 水野 忠則(三菱)    |
| 5. OSI実用化状況         | 朝倉 雄二(富士通)   |

#### T3: CG & 人工現実感 —コンピュータが作る仮想空間—

- |                                      |               |
|--------------------------------------|---------------|
|                                      | 司会 中嶋 正之(東工大) |
| 1. CG技術動向—フォトリリスティック, アニメーション, 人工現実感 | 横井 茂樹(名大)     |
| 2. 建築, 景観シミュレーション                    | 馬島 亮(大成建設)    |
| 3. 人工現実感                             | 野村 淳二(松下電工)   |
| 4. 仮想生物の行動シミュレーション                   | 藤田 卓志(富士通研)   |

第43回 全国大会「チュートリアル・セッション」  
参 加 申 込 書

平成3年      月      日

標記チュートリアル・セッションの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 10,000 円      非会員 15,000 円      学生（含大学院生）1,500 円

\*参加費には、資料代が含まれています。

○テキストのみ (4,000 円, 送料込) \_\_\_\_\_冊

○申込先 情報処理学会 チュートリアル係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

### ○送金方法

\* \_\_\_\_\_円を    a) 当日、会場受付にて支払います.

b) \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日送金します.

\* (bを選択した方のみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会 チュートリアル係)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

|           |         |           |        |
|-----------|---------|-----------|--------|
| 第一勧銀虎ノ門支店 | 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632 |
|-----------|---------|-----------|--------|

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608      太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739

|           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 住友銀行東京公務部 | 10899 | 三和銀行東京公務部 | 21409 |
|-----------|-------|-----------|-------|

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

• 送金先銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行宛

・送金取扱銀行名\_\_\_\_\_銀行\_\_\_\_\_支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先\_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒

機関名 \_\_\_\_\_

フリガナ

氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る10月20日～22日に名古屋大学で開催される第43回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第43回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意しておりますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は奨励賞委員会（委員長 小林副会長）で行い、その発表と表彰は来年3月に開催の第44回全国大会（明治大学）時に行われる予定です。

### 記

#### 選定範囲および推薦数

第43回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

**推薦資格** 本学会正会員に限る。

**推薦方法** 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校(学部)卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会奨励賞係あてお送りください。

**推薦締切** 平成3年10月31日（当日消印有効）

### 表 彰 規 程 (抜 粋)

#### 第5章 奨 励 賞

第19条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

賞金は、1名につき20,000円とする。

## 情報処理学会 第 44 回 全国大会実施要領

### 全国大会講演発表申込方法の改正について

——より多くの方に、より良い発表をしていただくために——

第 43 回全国大会（平成 3 年後期）からアブストラクトによる講演発表申込みの募集に改正しました。

より多くの希望者に、より良い発表をしていただく条件（執筆のための十分な準備時間がとれ、より新しい成果を講演原稿に反映できるようにする等）をいろいろと検討してきましたが、本原稿（カメラレディ）による募集方法では改善の余地がありませんので、踏み切ることになりました。

講演参加費の払込時期がアブストラクト提出時になり、時間的制約から提出された原稿の訂正ができなくなることや事務局の処理業務が若干増加する等の問題はありますが、会員の皆さまの便宜にかなひ、ご希望に添うものでありますので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出しください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願ひます。

**開催期日** 平成 4 年 3 月 17 日（火）～20 日（金）

**会 場** 明治大学理工学部（川崎市多摩区東三田）

#### 日程一覧 1. 講演申込書の送付

学会誌本号（Vol. 32, No. 9）掲載の講演申込書に記入して、応募規程 IV. の申込方法により 12 月 2 日（月）までに（必着）お送りください。なお 12 月 2 日に持参する方は、機械振興会館 6 階 69 号室にて受付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

#### 2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

#### 3. 原稿用紙等の送付

12 月中旬に事務局から「論文原稿用紙」等をお送りします。講演番号も同時に通知いたします。

#### 4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して 1 月 16 日（木）までに、学会事務局に必着するようご提出ください。

#### 5. 大会プログラムを学会誌 2 月号（Vol. 33, No. 2）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

#### 応募規程 I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

#### II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成 3 年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

#### III. 講演論文該当分野

##### 1. 情報科学一般

##### A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他
- B. 社会
  - a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他
- C. 教育
  - a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他
- 2. 基礎理論及び基礎技術
  - A. 情報数学
    - a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他
  - B. 情報理論及び OR
    - a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
  - C. データ解析
    - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
  - D. 数値計算
    - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
  - E. シミュレーション
    - a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
  - A. 基礎理論
    - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクショニズム, i. その他
  - B. 人工知能システム
    - a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
  - C. 自然言語処理
    - a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
  - D. パターン認識
    - a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
  - E. 生体情報処理
    - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
  - F. 感性情報処理
    - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
  - A. 音声処理
    - a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
  - B. 画像・図形処理
    - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
  - C. テキスト処理
    - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
  - D. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
  - A. 基礎理論
    - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
  - B. プログラム言語及び仕様記述言語
    - a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他

- C. 言語処理系
  - a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール
  - a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
  - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
  - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
  - a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
- 6. ソフトウェア工学
  - A. 開発技術
    - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
  - B. テスト・保守
    - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
  - C. ソフトウェアプロセス
    - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
  - D. 開発環境
    - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
  - E. ヒューマンファクタ
    - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
- 7. ハードウェア
  - A. 基礎理論
    - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
  - B. 論理回路
    - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
  - C. デバイス
    - a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
  - D. アーキテクチャ
    - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
  - E. 周辺・端末
    - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
  - F. 設計技術及び設計自動化
    - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他
  - G. 開発環境
    - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
  - H. テスト・検証
    - a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
  - A. 通信技術
    - a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
  - B. ネットワーク管理
    - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他

C. コンピュータネットワーク

- a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

9. システム

A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

10. 信頼性と安全性

A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

11. 応用

A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他

B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

IV. 申込方法

1. 本号会告のページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して12月2日（月）までに（必着）申込むこと。
2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申込むこと。  
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、まとめて送付すること。

VI. 講費参加費

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円です。
2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、1月16日（木）（必着）までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース（第一系）、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
6. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
5. 論文原稿の返却はいたしません。

## Ⅵ. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会（プログラム編成委員会）が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお薦めします）。

## Ⅸ. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

## Ⅹ. 発表論文の別刷はいたしません。

## Ⅺ. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の隣に設けられた講演者控え席で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。

## Ⅻ. 申込先及び問合せ先

（社）情報処理学会 全国大会係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (3505) 0505

## 会員名簿（平成3年版）の予約について

会員名簿予約の締切りが近づきましたので、まだ申込まれていない方は早急にお申込みください。

会員名簿は予約申込みを原則とし、その申込数によって限定印刷発行いたします。予約申込みされなかった場合には入手できないことがありますので、ご注意ください。なお、予約申込方法は下記のとおりです。また、名簿発送は12月上旬となりますのでご了承ください。

**予約申込** 名簿確認用紙に同封の郵便振替用紙にて名簿代金をお払込みください。入金をもって予約とします。なお、電話による申込みは受け付けません。

**予 約 価** 会員予約特価 6,000 円（会員定価 9,500 円）消費税、送料込。なお、海外送本は送料 1,000 円を申受けます。

**申込締切** 平成3年9月30日（月）

|            |  |
|------------|--|
| 掲 載<br>ページ |  |
|------------|--|

情報処理学会第 44 回全国大会  
講 演 申 込 書

|            |  |
|------------|--|
| 受 付<br>番 号 |  |
| 講 演<br>番 号 |  |

第 44 回全国大会に下記により講演申込をいたします。

|             |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
|-------------|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|------|
| 標 題 注 1)    |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
| フリガナ 注 1)   |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
| 著 者 名       |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
| 所 属 名       |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
| フリガナ        |      |     | ← 注) 講演者を○印で表示してください。(氏名の左上) 講演者会員種別 (○印で囲む)<br><table><tr><td>正会員</td><td>学生会員</td></tr></table> |          | 正会員      | 学生会員 |
| 正会員         | 学生会員 |     |                                                                                                   |          |          |      |
| 著 者 名       |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
| 所 属 名       |      |     |                                                                                                   |          |          |      |
| 論文該当分野 注 2) | (1)  | (2) | (3)                                                                                               | *1 (注 3) | *2 (注 3) |      |

- 注 1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないでください。
- 注 2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例 “ソフトウェア工学分野, 開発環境” の場合, 6Dと書く)
- 注 3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の \*1 または \*2 に記入してください。

論 文 要 旨 (300 字程度)

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

第 44 回 全国大会講演発表用原稿用紙送付宛名

◎ 原稿用紙等の送料として郵便切手 175 円を添付のこと。

|           |        |                   |
|-----------|--------|-------------------|
| 講演番号      |        | (楷書でハッキリ記入してください) |
| 原稿用紙送付先   | 〒      |                   |
| 機 関・部 課 名 |        |                   |
| 氏 名       | 殿      |                   |
| Tel.      | (ex. ) | FAX               |

## 第44回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入願います。

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円（講演者には参加章・プログラム・論文集1冊を事前発送します）。
  2. 講演不採択の場合は、講演参加費を返却しますが、申込後取消しの場合は返却しません。
  3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
  4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関毎にまとめてご提出ください。
  5. 銀行振込は、所定の銀行口座（三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774）に原稿送付と同時にご送金ください。
- なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。
- 但し、2件以上の場合には1件増すごとに4,000円か7,000円をご送金ください。
- 注）ご送金は登壇発表者名でお願いします。
6. 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をものなくご記入ください。（共著者の氏名は記入しないでください。）
  7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
  8. 講演参加費は消費税対象外です。
  9. 講演参加費は平成3年12月2日までにお支払い願います。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |            |   |                  |                       |   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---|------------------|-----------------------|---|
| 講演<br>参加<br>費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 4, 0 0 0 円 | 件 | 合 計 金 額<br><br>円 | 講<br>演<br>者<br>氏<br>名 | ○ |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 7, 0 0 0 円 | 件 |                  |                       | ○ |
| 必要書類：請求書                      通，納品書                      通，見積書                      通<br><br>※必要のない方は空欄のままで結構です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |   |                  |                       |   |
| 送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5—83484）                      ※該当個所にレ印を付けてください<br><input type="checkbox"/> 銀行振込                      銀行<br>（専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774）<br>送金月日：              月              日                      送金人名義：                                                                                                                                                       |            |   |                  |                       |   |
| 通信欄：                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            |   |                  |                       |   |
| <div style="text-align: right; margin-bottom: 20px;">（楷書でハッキリ記入してください）</div> <div>                         講 演 参 加 費<br/>                         取 扱 者<br/>                         連 絡 先 〒 _____<br/><br/>                         機 関 ・ 部 課 名 _____<br/><br/>                         氏                      名 _____ 殿<br/><br/>                         Tel. _____ (ex. _____) FAX _____                     </div> |            |   |                  |                       |   |

## 「マイクロコンピュータ・アーキテクチャ」

### シンポジウムの開催について

標記シンポジウムを「計算機アーキテクチャ研究会」と「マイクロコンピュータとワークステーション研究会」が主体となり開催いたします。下記要領により実施いたしますので、皆さま奮ってご参加ください。

日 時 平成3年11月12日(火) 9:00~16:45  
場 所 機械振興会館 地下2階ホール  
参 加 費 会員6,000円, 非会員9,000円, 学生1,000円, 論文集のみ4,000円  
\*参加費には、資料代が含まれています。  
申込締切 平成3年10月25日(金)

#### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

##### セッション 1 新方式アーキテクチャ (9:00~11:55)

- 2階層キャッシュメモリ内蔵1チップマルチプロセッサ  
並列動作可能な共有2次キャッシュと複数のスーパスカラ型マイクロプロセッサを1チップ化し高性能を得た。  
花輪 誠, 西井 修, 西向井忠彦, 鈴木 誠, 矢野 和男, 平木 充, 宿利 章二, 西田 高(日立)
- 動的データ駆動型プロセッサによる並列処理方式の検討  
動的データ駆動方式に VLSI プロセッサの機能/負荷分散処理方式の検討例を評価結果と共に報告する。  
金倉 広志, 宮田 宗一(シャープ)
- 2タイプアーキテクチャ (SIMD+Logic-in-Memory) を採用したファジィ推論専用プロセッサ  
ファジィ推論向きのアーキテクチャ (SIMD+Logic-in-Memory) の考案によりファジィ推論 LSIを開発した。  
佐々木 守, 上野 文男(熊本大), 片白 剛史(沖電気工業)
- デジタルファジィプロセッサ FP-5000  
大容量のルールを高速に実行するデジタルファジィチップを開発した。推論速度は 10 MFLIPS である。  
今江 文一(オムロン)

##### セッション 2 RISC プロセッサ (13:00~16:45)

- 64ビット RISC 形マイクロプロセッサの構成  
内蔵キャッシュを持つ RISC 形マイクロプロセッサの構成と2階層目の外部キャッシュの性能依存性を述べる。  
西道 佳人, 山口 龍一, 三宅 二郎, 枝松 壽一, 渡里 滋, 國信 茂郎(松下電器)
- V<sub>R</sub> 4000  
64ビットアーキテクチャおよびスーパーパイプライン構造などを中心に V<sub>R</sub> 4000 アーキテクチャを解説する。  
桑田 明(日本電気)
- PA-RISC とそのインプリメンテーション  
スケラビリティと世界最高性能を実現した PA-RISC とそのインプリメンテーションを解説する。  
清水 千博(YHP)
- マルチプロセッサ用チップセット i860™ XP/82495 XP/82490 XP  
最大 512 KB の2次キャッシュを持つマルチプロセッサシステムを構成できる。i860 XP ファミリの紹介。  
高橋 恒雄(インテル)
- MC 88110 の概要  
シンメトリック・スーパスケラ, 3次元グラフィックス, マルチプロセッシング等の機能を搭載した RISC。  
Michael Allen (Motora Inc.)

## 「マイクロコンピュータ・アーキテクチャ」シンポジウム

## 参 加 申 込 書

平成 3 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 1,000 円

＊参加費には、資料代が含まれています。

## ○資料のみ（4,000 円、送料込） \_\_\_\_\_ 冊

## ○送金方法

＊ \_\_\_\_\_ 円を a) 当日、会場受付にて支払います。

b) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

＊（b を選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
（社）情報処理学会 シンポジウム係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京 4298739  
営業部

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

## ○申 込 先

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....  
（楷書でハッキリ記入してください）申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

機関名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 日韓コンピュータビジョン共同会議 (CV '91)

Japan-Korea Joint Conference on Computer Vision

標記小規模国際会議を下記のとおり開催いたします。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 程 1991年10月10日(木), 11日(金)  
会 場 KOEX 会議室(韓国・ソウル市)  
共 催 情報処理学会 コンピュータビジョン研究会  
電子情報通信学会 パターン認識・理解研究会  
Technical Group of Artificial Intelligence, KISS  
Technical Group of Image Processing and TV, KITE

### プログラム概要

- 招待講演 (10日 9:30~10:40)  
“Computer Vision in Korea” Prof. Chan M. Park (Postech)  
“Computer Vision in Japan” Prof. Y. Shirai (Osaka Univ.)
- パネル討論 (11日 9:00~11:00)  
“The Application of Computer Vision for Automation”  
Panel Co-Chair: Prof. Sang Wook Lee (Seoul Nat'l Univ.) Dr. Masakazu Ejiri (Hitachi)  
Panelist: Mr. Sung G. Kim (Samsung Electronics) Dr. T. Shakunaga (NTT)  
Prof. Chong S. Choi (Chungang Univ.) Dr. J. Tajima (NEC)  
Prof. Kwang Y. Wohn (KAIST) Dr. Y. Kuno (Toshiba)
- 一般講演 (3パラレルセッション) 78件 (日本側47件, 韓国側31件)

参加費 学生: W 20,000 大学: W 70,000 企業, 研究所: W 100,000  
\* W 500 = ¥ 100 を目安をお願いします。

申込先 305 茨城県つくば市梅園 1-1-4 電子技術総合研究所 知能システム部 視覚情報研 富田文明  
Tel. 0298 (58) 5954 Fax 0298 (58) 5961 Email tomita@etl.go.jp  
申込書は郵送あるいは Fax でご送付ください。

### CV '91 参加申込書

申込連絡先  
ご住所 〒 \_\_\_\_\_

ご所属 \_\_\_\_\_

ローマ字  
ご氏名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

・学 生          ・大 学          ・企業/研究所

標記会議の参加を申し込みます。

## グラフィクスと CAD 研究会設立 10 周年記念

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

## 記

日 時 平成 3 年 11 月 20 日 (水) 午前 9 時～午後 5 時 15 分 (午後 5 時 30 分より懇親会)  
11 月 21 日 (木) 午前 9 時～午後 5 時

場 所 機械振興会館 大ホール (地下 2 階)

参 加 費 正会員 20,000 円, 非会員 30,000 円 (いずれも論文集および記念出版物を含む)  
学生会員 3,000 円 (論文集のみ)

懇親会参加費 2,000 円 (参加申し込みと同時に申し込みください。)

資料 (論文集と記念出版物のセット) のみは、10,000 円 (送料込み)。

申込締切 平成 3 年 11 月 8 日 (金) (定員 150 名になり次第締め切らせていただきます。資料のみの方は、印刷部数に限りがありますので、なるべく早めにお申し込みください。)

## ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

[第 1 日 11 月 20 日 (水) (9:00～17:15)]

開 会 (9:00～9:10)

挨拶

中嶋 正之 (東工大)

セッション 1 文書図面の生成・編集 (9:10～10:00)

- LATEX をベースとした文書と図形作成支援システムの作成と利用 穂坂 衛, 斉藤 剛 (電機大)
- 学術論文の文書作成における図形の生成処理および貯蔵について 斉藤 剛, 穂坂 衛 (電機大)

— 休 憩 (10:00～10:20) —

セッション 2 形状モデリング (10:20～12:00)

- Gregory 曲面の特異点を回避した有理 Bezier 曲面近似 植田 健治 (リコー)
- 仮想空間における立体形状モデリング 荒川 佳樹 (通信総研)
- 3次元スケッチシステムの開発 古島 終作, 金井 理, 高橋 秀智 (東工大)
- 非多様体形状モデリングと例外処理 山口 泰, 木村 文彦 (東大)

— 昼 休 (12:00～13:00) —

招待講演 (13:00～14:00)

「マルチメディア・システムの動向」

鈴木 則久 (日本 IBM)

セッション 3 マルチメディア・ユーザインタフェース (14:00～14:50)

- マルチメディア WS の表示アーキテクチャに関する考察 上原 宏敏 (松下電器)
- 知的インタフェースにおけるメッセージの分析と課題 間瀬 健二, 福本 雅明, 末永 康仁 (NTT)

— 休 憩 (14:50～15:10) —

パネル討論 (15:10～17:15)

司会 服部 幸英

「10年後の CG と CAD —10 周年を記念して」 西田 友是 (福山大), 河口洋一郎 (日本電子専門学校),  
末永 康仁 (NTT), 綾 日天彦 (三井造船システム技研)

— 懇親会 (17:30 より, 機会振興会館内) —

[第 2 日 11 月 21 日 (木) (9:00～17:00)]

セッション 4 CAD システム (9:00～10:40)

- 構想設計 CAD 「コンセプトデザイン」

川島 泰正, 野中 士郎, 徳増 眞司, 石川 貴之, 富田 健一 (日立)

- 対話設計環境における支援のための「設計デモン」 石川 貴之, 川島 泰正 (日立)

- 機械設計支援用知識ベースの構築法について 米山 正樹, 竹田 好晴, 小林 広明, 中村 維男 (東北大)

- 機械設計向き記述言語に関する研究 森 秀之, 日向 一弘, 小林 広明, 中村 維男 (東北大)

—休 憩 (10:40~11:00)—

セッション 5 レンダリング (11:00~12:15)

- 3次元コンピュータグラフィックスによる頭髮表現 安生 健一, 宇佐美芳明, 栗原 恒弥 (日立)
- 直方体受光面を用いた天空光モデル

馬場 雅志, 山中 毅, 金田 和文, 中前栄八郎 (広島大), 西田 友是 (福山大)

- 高信頼・高速, 隠線・隠面消去方式 —二次元スペースモデルの応用— 大沢 晃 (日立)

—昼 休 (12:15~13:10)—

記念講演 (13:10~13:50)

「CG による江戸城の復元」

杉本 和敏 (日本IBM)

セッション 6 人工現実感・ハードウェア (13:50~15:05)

- 人工現実感による形状加工変形方式 三輪 道雄, 小山 隆正, 吹野 美和, 加藤 昌央 (松下電器), 高崎 美雪, 岡田晃市郎 (シルクラボラトリ)
- 人工現実感を応用した運航管制方式の提案 (ニアミスの防止手段として) 鬼塚 武郎
- 航行めがねワールド: 人工テレパシーと人工現実感による RAR 概念 大座畑重光 (マッキンテリジェンス)

—休 憩 (15:05~15:20)—

セッション 7 レンダリング用ハードウェア (15:20~16:10)

- PHIGS の構造体を処理するジオメトリ演算部の並列アーキテクチャについて 松本 尚, 川瀬 桂, 森山 孝男 (日本IBM)
- パソコン用グラフィクスエンジンと放射型影付け手法による準リアルタイムアニメーション 森 健一, 土井美和子, 千本 浩之 (東芝)

セッション 8 アニメーション・可視化 (16:10~17:00)

- 実験結果, 解析結果のアニメーション表示 谷野 郁子, 堀越 清視, 山下かはる (鹿島建設)
- 渦場による炎の延焼の CG シミュレーション 村岡 一信 (盛岡短大), 渡邊 俊臣 (日立電子), 守田 空梧 (京セラ), 千葉 則茂, 三浦 守 (岩手大)

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内\*

講習会「液晶ディスプレイ (LCD) とその周辺技術」

平成 3 年 10 月 16 日 (水)~17 日 (木)

東京・科学技術館

平成 3 年度 AVIRG-SMC サマーセミナー

平成 3 年 10 月 18 日 (金)

東京大学

「人」中心のオフィス環境とヘルスケアシンポジウム

平成 3 年 10 月 23 日 (水)

大阪・TOWA りぶホール

SICE 基礎講習会—H $\infty$  制御入門—

平成 3 年 11 月 6 日 (水)~7 日 (木)

東京大学

第 12 回 JAMIT セミナー

平成 3 年 11 月 8 日 (金)

国立がんセンター

講習会「ファジィ理論と知識獲得」

平成 4 年 1 月 24 日 (金)

大阪・三田出版会

FA・IMS '92—新生産・情報システム展—

平成 4 年 3 月 3 日 (火)~6 日 (金)

東京・晴海見本市会場

\* 詳細は本号会議案内欄参照

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」

## 参 加 申 込 書

平成 3 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 20,000 円，非会員 30,000 円，学生会員 3,000 円

＊ 参加費には，資料代が含まれています。

懇親会 2,000 円

## ○資料のみ（10,000 円，送料込）\_\_\_\_\_冊

## ○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計\_\_\_\_\_円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945  | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632      |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899    | 6. 三和銀行東京公務部 21409       |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注）申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

## ○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_フリ ガナ 学名  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 「B-ISDN 時代におけるマルチメディア通信と分散処理シンポジウム」

### 開 催 に つ い て

標記シンポジウムを下記要領で開催することにしたので、多数の方のご参加をお願いします。

#### 記

日 時 平成3年11月14日(木) 9:20~17:00  
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)  
参 加 費 会員6,000円, 非会員9,000円, 学生1,000円(論文集のみ4,000円, 送料込)  
申込締切 平成3年10月31日(木)  
申 込 先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会 シンポジウム係  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

#### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

挨 拶 (9:20~9:30)

河岡 司 (NTT)

司会 滝沢 誠 (電機大)

白鳥 則郎 (東北大)

招待講演 「コミュニケーションと人工知能」(9:30~10:30)

セッション 1 AI 技術とマルチメディア通信・分散処理

(1) 「画像処理のための分散協調推論モデル」(10:30~11:00)

松山 隆司 (岡山大)

(2) 「ネットワーク型教育支援システムの遠隔教育への適用に関する一考察」(11:00~11:30)

福島 学, 浮貝 雅裕 (千葉工大), 木下 哲男 (沖電気), 菅原 研次 (千葉工大)

(3) 「分散協調マルチエージェント型知的通信網」(11:30~12:00)

岸本 了造 (NTT)

一 昼 食 (12:00~13:00) —

司会 菅野 政孝 (NTT データ通信)

招待講演 「マルチベンダ・インテグレーション・アーキテクチャ」(13:00~14:00)

高木 明啓 (NTT)

司会 松方 純 (宇宙研)

招待講演 「インテリジェントネットワークの研究動向」(14:00~15:00)

水澤 純一 (東大)

一 休 憩 (15:00~15:30) —

セッション 2 高速ネットワークとマルチメディア通信・分散処理

(1) 「間欠リンクを含むインターネットワーク」(15:30~16:00)

加藤 朗 (慶大)

(2) 「ATM 技術を用いた高速基幹 LAN Σ 600 による大規模・高速・  
マルチメディア通信ネットワークの実現」(16:00~16:30)

高田 治, 滝安 美弘, 小倉 敏彦, 杉村 久司, 寺田 松昭 (日立)

(3) 「分散 make に関する考察」(16:30~17:00)

住元 真司, 湯原 雅信, 岸本 光弘 (富士通研)

## 「B-ISDN 時代におけるマルチメディア通信と分散処理」シンポジウム

## 参 加 申 込 書

平成 3 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 1,000 円

＊ 参加費には、資料代が含まれています。

## ○資料のみ（4,000 円、送料込）\_\_\_\_\_冊

## ○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計\_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945  | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632      |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899    | 6. 三和銀行東京公務部 21409       |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先\_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

## ○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

機関名 \_\_\_\_\_

フリガナ

氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 「第 33 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これにつよい関心をもち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な討議に参加しようという意欲のある」多数の方々の参加を希望します。

### 記

日 時 1992 年 1 月 8 日 (水) 午前 10 分 受付開始 (この日の昼食は用意しません)  
午後 1 時 開会

10 日 (金) 正午 閉会

場 所 箱根ホテル小涌園 (神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel. 0460 (2) 4111

交 通 路線バス：小田原駅表口＜登山バス＞箱根町行～小涌園前 約 40 分

箱根湯本駅～小涌園前 約 30 分

タクシー：小田原駅表口～小涌園前 約 30 分

箱根湯本駅～小涌園前 約 20 分

参 加 費 (予稿集代、宿泊費、食費を含む。カッコ内は非会員参加費)

☆一般 35,000 円 (40,000 円)

☆大学院学生 25,000 円 (30,000 円)

※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1991 年 11 月 29 日 (金)

- 注) 1. 参加申し込み後やむを得ず参加を取り消される場合は 12 月 17 日 (火) までにお願ひします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 同一所属からの参加者数をご調整ください。
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

.....

「第33回 プログラミング・シンポジウム」

### 参加申込書

1991 年 月 日

1. 参加区分                      会 員                  非 会 員                  会 員 番 号 \_\_\_\_\_  
☆一般                            □                         □  
☆大学院学生                   □                         □

※参加区分は、該当の□の中に✓を入れて下さい。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金・支払い方法  
a) 当日持参します。

b) ￥ 也を次の方法で送金します. (送金日 月 日)

b-1) 現金書留      b-2) 郵便振替 (東京 5-83484)      b-3) 銀行振込 (      銀行宛)

銀行振込口座番号（いずれも普通預金）

第一勸銀行虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739

|           |       |
|-----------|-------|
| 住友銀行東京公務部 | 10899 |
|-----------|-------|

三和銀行東京公務部 21409

名義人： 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先名義

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。  
 ◇年令は \_\_\_\_\_ 歳・内緒 \_\_\_\_\_ 男・女  
 ◇宿泊室は \_\_\_\_\_ 喫煙室希望・禁煙室希望  
 ◇そのほか特に希望があればご記入ください。（必ずその通りにすると約束はできません。）

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。
- ◇夜の自由討論の希望テーマ \_\_\_\_\_
- ◇マイコン・ビデオデモなどの展示、発表希望 \_\_\_\_\_

5. 申し込み先（下記まで郵送かFAXで送付のこと）  
情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係  
〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03(3505)0505 Fax. 03(3584)7925

申込者  
連絡先 (〒 )

機 関 ・  
部 課 名

フリガナ  
氏 名 殿

Tel. (ex ) Fax.

E-mail (公開可能な方のみご記入下さい)

— 32 —

## ＜60万人科学者技術者代表集会＞

## 「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム

——大学の改革と学術法人活性化を目指して——

日 時 平成3年11月17日(水) 13:00～17:45  
 場 所 KIビル地下大会議室  
 東京都港区赤坂 6-5-30 (Tel. 03 (5561) 2111)  
 主 催 日本工学会  
 共催予定 日本工業アカデミー, 材料連合フォーラム, 日本工業教育協会  
 協賛予定 情報処理学会他 150 学協会  
 後援予定 科学技術庁, 文部省, 通商産業省, 経済団体連合会, 日本商工会議所  
 幹事学会 応用物理学会, 高分子学会, テレビジョン学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本建築学会, 日本鉄鋼協会  
 参加費 1,000 円(会場整理費) 一当日持参—  
 定 員 300 名(定員超過の場合は抽選といたします)

## ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

(敬称略)

開会の辞 (13:00～13:15) 石川 六郎(日本工学会会長)  
 基調講演(1) (13:15～14:15) 座長 斎藤 進六(材料連合フォーラム会長)  
 「我が国の工学教育の諸問題」 向坊 隆(日本工学アカデミー会長・日本工業教育協会会長)  
 基調講演(2) (14:15～15:00) 座長 長倉 三郎(研究大学院大学長)  
 「日本の工業と工学の将来」 近藤 次郎(日本学術会議会長)  
 一休 憩—  
 講演(1) (15:15～15:45) 座長 松尾 稔(名古屋大学工学部長)  
 「大学の活性化への提言」 末松 安晴(東京工業大学学長)  
 講演(2) (15:45～16:15) 座長 今泉 常正(日本工業会副会長)  
 「大学の活性化への提言」 伊東 昌寿(東レ(株)会長)  
 講演(3) (16:15～16:45) 座長 佐伯 修(日本学術会議会員)  
 「21 世紀をリードする大学へ望む」 清水 栄(経済団体連合会 産業技術委員会政策部会長)  
 問題提起 (16:45～17:30)  
 「大学の改革と学術法人活性化」一国民の議論を期待して— 内田 盛也(日本工学会 政策委員会委員長)  
 閉会の辞 (17:30～17:40) 堀 幸夫(日本工学会副会長)  
 懇親会 (18:00～20:00) (会費:5,000 円)(懇親会については後日参加者にご案内いたします.)

——参加申込みについて——

参加費 1,000 円(会場整理費) 一当日持参—  
 参加申込 往復はがきに氏名・年令・勤務先・同居所・同電話番号・所属学会名を明記のうえ, 返信用表に通信先住所・氏名を必ずご記入ください. (FAX でのお申込みは受け付けません)  
 申込期日 平成3年11月11日(月) 必着  
 申込み先 107 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル3階  
 社団法人 日本工学会「11月シンポジウム」係宛  
 Tel. 03 (3475) 4621 FAX 03 (3403) 1738  
 参加証 参加証を11月20日前後に送りますので当日ご持参ください.

## 小規模国際会議論文募集

**会議名** ソフトウェア工学小規模国際会議 '92  
Joint Conference on Software Engineering '92  
**共催** 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会 (IPSJ SIGSE)  
韓国情報科学学会 ソフトウェア工学研究会 (KISS SIGSE)  
**日程** 1992年3月26日(木), 27日(金)  
**場所** Seoul (韓国) (会場等の詳細は次号)

### 会議の主旨

ソフトウェア工学に関する国際会議は古くから開催され、伝統に根づいたものも多い。ところがそのほとんどのものが欧米中心であり、わが国からはそれに参加する形をとることが多い。アジアにおけるソフトウェア工学について論じた会議は皆無であったといってよい。アジアにはアジアなりの問題があるかもしれない。

本会議はアジアの仲間たちと継続的に議論する方向を目指す、最初の試みである。前日に Taejon にある韓国研究機関の見学ツアーも予定している。

### ●論文応募要領

**分野** 要求定義, ソフトウェア設計, ソフトウェア保守, テスト, 分散開発環境, PWS, データベース, オブジェクト指向, プロセスプログラミング, グループウェア, CASE ツール, エキスパートシステム, ユーザインタフェース, 品質保証, 情報システムの構築などソフトウェア工学全般に関する分野。

**公用語** 英語

**応募** A4判2枚(1000語)以内のアブストラクト5部(英文, ハードコピー)を下記に送付

**送付先** 162 東京都港区赤坂 2-17-51 日本ユニシス(株) 研究開発部 峰尾欽二  
Tel. 03 (3266) 7513 FAX 03 (3235) 1632

**スケジュール** アブストラクト応募締切 **1991年11月1日(必着)**

採否通知 1991年11月15日(発送)

カメラレディ原稿締切 1992年2月7日(着) \* (英文2部 A4判で8ページ以内)

### ●参加要領

最終プログラムと参加手続きは1992年1月号に掲載を予定している。

**参加費** 日本円で1万円程度を予定している(学生は半額)。

**参加申込締切日** 1992年3月6日

# 第 8 回色彩工学コンファレンス

(第37回光学四学会連合講演会)

主催：光学四学会（日本写真学会、応用物理学会日本光学会、照明学会、日本色彩学会）

協賛：画像電子学会、情報処理学会、テレビジョン学会、電気学会、電子写真学会、電子情報通信学会、日本印刷学会、日本心理学会、日本デザイン学会、日本ME学会、レーザー学会、色材協会、I S T 東京支部、人工知能学会

第8回色彩工学コンファレンスを下記のように開催いたします。

また展示会『カラーテクノロジーJAPAN'91』（11月19日、20日、入場無料）とチュートリアル講演（11月16日別途、有料、別会場）を併催いたします。関連分野の方々の積極的参加を期待します。

| 色彩工学コンファレンス                                                                       | チュートリアル                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>日 時：</b> 1991年11月18日(月) 9:20~18:00<br>19日(火) 9:10~17:50                        | <b>日 時：</b> 11月16日(土) 9:30~16:40                                                                                                                                           |
| <b>会 場：</b> 科学技術館・サイエンスホール（東京・竹橋）<br>東京都千代田区北の丸公園2-1 ☎(03)3212-8471               | <b>会 場：</b> 中退金ビル・大ホール<br>東京都港区芝公園1-7-6 ☎(03)436-0151                                                                                                                      |
| <b>参加費：</b> コンファレンス（論文集代を含む）<br>共催協賛会員 9,000円<br>非会員 11,000円<br>学 生 4,000円        | <b>交 通：</b> JR 浜松町駅 徒歩 8分<br>地下鉄浅草線大門駅 徒歩 3分<br>地下鉄三田線芝公園駅 徒歩 3分                                                                                                           |
| <b>交 通：</b><br>竹橋駅 徒歩 7分<br>（地下鉄東西線）<br>九段下駅 徒歩 7分<br>（地下鉄東西線・半蔵門線・新宿線）           | <b>申込締切：</b> 11月9日(土)                                                                                                                                                      |
|  | <b>参加費：</b> チュートリアル（テキスト代を含む）<br>コンファレンス参加者 16,000円<br>その他一般 20,000円<br>学 生 6,000円                                                                                         |
|                                                                                   | <b>プログラム</b><br>9:30 ~ 11:00 (1) 表色の基礎 荒生 薫 (東工芸大)<br>11:10 ~ 12:40 (2) 測色の基礎 平井敏夫 (日本色研)<br>13:30 ~ 15:00 (3) 色再現の基礎 犬井正男 (コニカ)<br>15:10 ~ 16:40 (4) 色信号変換の基礎 小寺宏輝 (松下技研) |

申込・送金方法：

- (1) 銀行振込の場合：申込書に必要事項をご記入の上、下記の申込先までお送りください（FAX可）。  
 振込先は三菱銀行・浜松町支店（018）・普通預金・0135840 口座名「光学四学会幹事会」
- (2) 郵便振替の場合：申込は、振替用紙の通信欄に申込書と同じ事項をお書きください（個人名も）。申込書は送らないでください。  
 振替は、東京8-69794 口座名「光学四学会幹事会」
- (3) 申込書あるいは振替用紙が事務局に届き次第、参加受付証をお送りします。
- (4) 申込先：〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル連企画気付 「色彩工学コンファレンス事務局」 ☎&FAX03(3433)2543  
 \*申込みは論文集、テキストに余裕のある範囲で当日も受け付けます。

論文集・テキスト：当日会場でお渡します（欠席者には終了後郵送）。論文集だけは9,000円で頒布します（終了後郵送）。

## 第8回色彩工学コンファレンス申込書

|                |                                                                                                  |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏 名<br>(複数記入可) | 所属学会                                                                                             |
| 連絡先 〒 ☎<br>所在地 |                                                                                                  |
| 機関名            | 参 加 <input type="checkbox"/> コンファレンス<br><input type="checkbox"/> チュートリアル                         |
| 所 属            | 資 格 <input type="checkbox"/> 会 員<br><input type="checkbox"/> 非会員<br><input type="checkbox"/> 学 生 |
|                | 送 金 額<br>(予定)                                                                                    |

## 第8回色彩工学コンファレンス プログラム

## 第1日 11月18日(月) 9:20~18:00

開会の辞 (9:20~9:30)

内田康男実行委員長(日本写真学会、コニカ)

## 1. 測色(1) (9:30~11:10)

座長 一条 隆(東芝ライテック)

1-1 CIE XYZ表色系60周年を迎えて(招待講演)

川上元郎(東京工芸大)

1-2 100色相環の表色と色差について -美術大学生の実験-

山岸政雄(金沢美術工芸大)

1-3 三波長形蛍光灯の器具透過色の好ましき

小松原仁・坂田勝亮(日本色研)、瀧田隆義・星野兼子・

神原裕一(東芝ライテック)、鈴木恒男(慶応大)

1-4 光源色の白度評価法

鈴木恒男(慶応大)、瀧田隆義(東芝ライテック)、小松原仁・坂田勝亮(日本色研)

## 2. 測色(2) (11:20~12:40)

座長 明道 成(三菱電機)

2-1 測光・測色あれこれ(招待講演)

富永 守(東芝ライテック)

2-2 パール・マイカペイントのフロップ感の評価

馬場護郎(村上色研)

2-3 TiO<sub>2</sub>/Seカラーセンサを用いたファジィ推論方式色選別装置の試作

栗原幸男・湯浅宏康・小林 賢(神奈川県工試)、山中守秀・堀田 優・口 武夫(モリリカ)

## 3. 色彩表示・デバイス(1) (13:40~15:00)

座長 畑田豊彦(東工芸大)

3-1 プラズマディスプレイの現状と将来(招待講演)

内池平樹(広島大)

3-2 色感学考のすすめ(招待講演)

伊藤安雄(東芝ライテック)

## 4. 配色(1) (15:10~16:30)

座長 日原もとこ(製料研)

4-1 自動配色の試み(招待講演)

北畠 燿(文化女子大)

4-2 デジタル・カラー・オーダーシステム

高畑利雄(アミック)

4-3 カラーデザインシステムにおける配色支援

佐藤洋一(NSIS)、田島謙二・斉藤卓資(NEC)

## 5. 配色(2) (16:40~18:00)

座長 小松原仁(日本色研)

5-1 インテリアカラーと照明による複合効果のマニュアル(1)

-インテリアカラー&amp;ライティングコーディネートシステムにおける視点と展開-

日原もとこ(製料研)、児玉 晃(日本色研)、門永鉄雄・紺藤建夫・蒲 秀樹(松下電工)

5-2 インテリアカラーと照明による複合効果のマニュアル(2)

-コンピュータグラフィックスによる色と照明のシミュレーション-

日原もとこ(製料研)、児玉 晃(日本色研)、門永鉄雄・紺藤建夫・蒲 秀樹(松下電工)

5-3 コンピュータ・グラフィックス上での情報表示デザインにおける同時対比の補正

石崎 豪(メディア科学研究所)・小林裕和・古堅真彦

5-4 コンピュータ・グラフィックスによる室内配色、及び配置能力の開発

-ニューメディアによるファッション教育の可能性- 浅井 宏(東筑紫短大)

## 第2日 11月19日(火) 9:10~17:50

## 6. 色覚(1) (9:10~10:50)

座長 内川恵二(東工大)

6-1 薄明視における色の見え(招待講演)

湯尻 照(広島工大)

6-2 薄明視の色の見えとそのシミュレーション

門馬智春・本間園乃枝・矢口博久・羽石秀昭・三宅洋一(千葉大)

6-3 知覚に基づいた明るさ評価システムの一提案

中野靖久(東工大)

6-4 L/Y比と純度弁別およびG<sub>0</sub>について

納谷嘉信・高木英行・山田崇裕(大阪電通大)、

橋本健次郎(松下電器)、側垣博明(電総研)

## 7. 色覚(2) (11:10~12:30)

座長 斎田真也(製料研)

7-1 物体色・光源色モード認識と色の見え(招待講演)

岡嶋克典(防衛大)

7-2 高齢者の色識別能力 -光色との関係-

矢野 正・橋本健次郎・金谷末子(松下電器)

7-3 色と形の見え(人工物、自然物)の評価

武市啓司郎・佐川 賢・清水 豊(製料研)

## 8. 色彩表示・デバイス(2) (13:40~14:20)

座長 犬井正男(コニカ)

8-1 光SHGの現状と技術動向(招待講演)

黒沢秀行(コニカ・技術研究所)

## 9. 色再現(1) (14:20~15:40)

9-1 カラーコピーの画質目標(招待講演)

仲谷文雄(富士ゼロックス)

9-2 自然カラー画像の色空間分布と画質

後澤尚人(凸版印刷)

9-3 射影変換を用いた色補正方式

関 範頭(富士ゼロックス)

## 10. 色再現(2) (16:00~17:40)

座長 高橋公治(富士フイルム)

10-1 CIE均等色空間の色相線の曲がり -電子画像の色再現に最適な均等色空間を求めて- 洪 博 哲(コニカ)

10-2 ホワイトバランス調整のための光源推定方法の検討

山田 伸・金道敏樹(松下技研)、高柳俊和(松下電器)

10-3 カラー風景画像のIQ信号表示と画像圧縮

飯塚昌之(東京工芸大)、駒井義弘(ソニー)

10-4 色領域抽出を目的とした色空間座標系の検討

本村秀人・金森克洋・麓 照夫(松下技研)

10-5 減法混色で用いられる色素の色域効率

犬井正男(コニカ)

閉会の辞 17:40~17:50

第9回色彩工学コンファレンス実行委員長

91国際画像機器展  
会 場  
東京産業貿易会館

## 第22回画像工学コンファレンス プログラム

第1日目 12月10日(火) 9:20~19:00

開会の辞 (9:20~9:30)

日下秀夫実行委員長 (NHK)

1. 特別セッション『画像メディアの展望』 (9:30~11:30) 座長 日下秀夫 (NHK)、山本英雄 (KDD)

1-1 衛星による画像ネットワーク

John Lewis (CNN Japan)

1-2 3次元画像技術の展望

平 正昭 (リンクス)

1-3 ハイパーメディアの展開

浜野保樹 (放送教育開発センター)

2. 入出力デバイス (11:40~12:40)

座長 杉山 精 (東工芸大)

2-1 液晶ディスプレイの現状 (招待講演)

横澤美紀 (高度映像技術研究所)

2-2 無機多孔質材料の細孔構造と画像記録材料への応用

篠田勝俊・雉子牟田等・横田信行・  
長谷川隆文・鈴木信一 (旭硝子)

3. ポスタセッション(1) (13:10~14:40)

3-1 固定観測領域での光流動の記述と計測

野村厚志・三池秀敏・古賀和利 (山口大)

3-2 変動図形における変動評価量とその応用

長谷博行・米田政明・酒井 充 (富山大)

3-3 エネルギー最小化による変形可能な物体の動画追跡

藤村恒太 (三洋電機)・横矢直和・山本和彦 (電総研)

3-4 VIEW-Stationのグラフィカルユーザインタフェース

河合智明・岡崎 洋・田中宏一良・田村秀行 (キヤノン)

3-5 微小レンズアレイによる視覚認識システムの基礎研究

山口 茂・矢野潤一・亀丸俊一 (茨城大)

3-6 部分パターンを用いた特徴抽出の手法による文字認識システムの基礎研究

矢野潤一・亀丸俊一 (茨城大)

3-7 高輝度LEDアレイ光源を用いた空間コヒーレンス制御可能な顕微鏡

山本明弘・河田 聡・南 茂夫 (阪大)

3-8 2原色によるカラー画像再生法

小寺宏暉・金森克洋・麓 照夫 (松下技研)

3-9 投影法を用いた画像内線分情報の抽出

諸角 建・高井宏昌・野田健一 (拓殖大)

3-10 動的k近傍法による画像のリラクゼーション

萩原義裕・小畑秀文・大森隆司 (東京農工大)

3-11 地中レーダ画像からの埋設物の検出 —ブロック化マイグレーション法の応用—

許 光 秀・川中 彰 (上智大)・中山 昇 (大阪ガス)・高木幹雄 (東大・生研)

3-12 錯視現象を用いた似顔絵変形の自律的評価 —PICASSO システムのデフォルメ制御—

村上和人・奥水大和・中山 晶・福村晃夫 (中京大)

3-13 自動2値化のための前処理

須崎寛則・金近昭彦 (古野電気)

3-14 フーリエ位相相関法を用いたパターン識別

中山 亨 (住友化学)・河田 聡・南 茂夫 (阪大)

4. 三次元表示 (13:50~15:10)

座長 本田捷夫 (東工大)

4-1 Conical Holographic Stereograms, Real Image L. M. Murillo-Mora, T. Muto, K. Okada and J. Tsujiuchi (千葉大)

4-2 断層多重記録ホログラムによる医用画像の3D表示

伊藤康治・宋 玄 鎬・石垣 徹・小池 功・岡田勝行・  
辻内順平 (千葉大)

4-3 アクティブバリア方式めがねなし3Dディスプレイ

磯野春雄・安田 稔 (NHK)・笹沢秀明 (中央大)

4-4 ホログラフィックステレオグラム方式による電子ホログラムディスプレイ

吉川 浩・佐々木建光・阿部公威 (日本大)

5. コンピュータビジョン(1) (15:20~17:00)

座長 佐藤 誠 (東工大)

5-1 知能ロボットのためのステレオビジョン (招待講演)

富田文明 (電総研)

5-2 動画をを用いた注視者の切り出し

嵐田 聡 (NTT)

5-3 人物のカウント方法に関する検討

小池秀樹・土川 仁・安達文夫 (NTT)

5-4 スキャン式空間コード化法によるレンジファインダ

橋本礼児・佐藤幸男 (名工大)

優秀ポスタ表彰(17:00~17:10)

6. コンピュータビジョン(2) (17:20~19:00)

座長 尺長 健 (NTT)

6-1 運動視差画像列による奥行き計測

生田真里・五十嵐智・阿刀田央一・斎藤延男 (東農工大)

6-2 カラーステレオマッチングとその視神経乳頭3次元形状計測への応用

奥富正敏・吉崎 修 (キヤノン)・富田剛司 (岐阜大)

6-3 ファイバースケイティングを用いた3次元物体の高速自動識別システム

寺田賢治・中沢和夫・中島真人 (慶応大)・油田信一 (筑波大)

6-4 パルス制御3次元視覚センサ

小関 修・樋口和則・山本 新 (豊田中研)

6-5 緩やかな濃度分布モデルを用いるごく少数方向投影からの高速な3次元パターン計測

田山典男・船岡 真 (岩手大)

## 第2日目 12月11日(水) 9:10~19:20

## 7. カラー画像 (09:10~11:10)

座長 三宅洋一(千葉大)

- 7-1 The application of data interpolation techniques to image modeling (招待講演) Dr. David R. Cok (Eastman Kodak Co., Imaging Science Lab.)

- 7-2 カラー画像の色彩強調

谷口幸治・中島真人(慶応大)

- 7-3 カラー2値表示装置を用いた擬似フルカラー表現

前田尚利・中島真人(慶応大)

- 7-4 カラーハードコピーにおける色再現向上のための手法

一注目色に応じた重み付け  
宮田公佳・羽石秀昭・矢口博久・三宅洋一(千葉大)

- 7-5 色相関を用いたカラー画像の高解像度化

山本直史・関沢秀和(東芝)

## 8. 画像処理(1) (11:20~12:40)

座長 中島真人(慶応大)

- 8-1 ブラインド デコンボリューションによる像回復(招待講演) 小松進一(早稲田大)

- 8-2 一般化EMアルゴリズムを用いた画像復元

工藤博幸(東北大)、斎藤恒雄(筑波大)

- 8-3 凸射影法による画像復元の問題点とその改良法

西 一樹(電通大)

## 9. ポスタセッション(2) (13:10~14:40)

- 9-1 印刷用カラースキャナにおけるファジ理論を用いたオートセットアップ 竹本文人・宮川正・福井隆(富士フイルム)

- 9-2 部分的連続画像のKL変換の処理による因子画像列の生成 立川 光・中原壽喜太・土井昭孚・田邊正忠(香川医大)

- 9-3 パノラマ画像を用いた仮想カメラシステム

林 正樹・福井一夫(NHK)、中村一二(東京理大)

- 9-4 フィードバック結合をもつBPモデルによる電子部品番号の認識

今井勝次(トヨタ自動車)、郷原一寿・内川嘉樹(名大)

- 9-5 ISDNによる画像高速通信

王 昌 正・野村孝徳・平野浩太郎(神戸大)

- 9-6 光アレイロジックを用いたソーティングの検討

岩田昌也・谷田 純・岡芳樹(阪大)

- 9-7 3層型液晶偏光干渉計による像面フーリエ分光映像法

太田隆志・井上 卓・伊東一良・岡芳樹(阪大)

- 9-8 レーザ3次元測定における光学系

永田秀範・山田 修・小野裕司・戒田健一・奥田英二(松下寿電子)

- 9-9 ホログラフィックステレオグラムによる胎児の立体表示

佐藤甲斐・秋山いわき・石塚隆雄・小谷 誠(湘南工科大)、伊東紘一(自治医科大)、勝間ひでとし(多摩大)、石川 洵(石川光学造形研究所)

- 9-10 ホログラフィ映画技術の実験的検討

樋口和人(NTT)、檜山茂雄・石川 洵(多摩芸術学園)

- 9-11 衣服CADのための人体三次元形状モデル

岸本泰蔵・篠崎彰大(ワコール)、紅野 進・黒川隆夫(京都工繊大)

- 9-12 3-D PRINTER のカラー化

榎本 寿・山口雅浩・本田捷夫・大山永昭(東工大)

- 9-13 高速・連続3次元計測システム

荒木和男・清水 優(中京大)、野田貴之・千葉裕二(名工大)、津田幸文・池谷和俊・三宮邦夫・五味睦子(松下技研)

## 10. 画像処理(2) (13:50~15:10)

座長 村上仁己(KDD)

- 10-1 画像処理における最近のハードウェア構成技術(招待講演) 古閑敏夫(日本電気)

- 10-2 The development of intelligent associative memory system 盧 学 農・大山永昭・山口雅浩・本田捷夫(東工大)

- 10-3 光散乱理論および散乱パターンの周期情報を用いた画像処理による粒子像解析
- 
- 多田伸行・三池秀敏(山口大)、百田正広(徳山工高専)

## 11. 画像処理(3) (15:20~16:40)

座長 坂上勝彦(電総研)

- 11-1 自然画像を用いたイメージシミュレーションシステム

加藤 誠・瀧澤由里・森田豊久・野山英郎・宮岡伸一郎・能見 誠(日立製作所)

- 11-2 手書き変動の定量化とその文字認識への応用

塩山忠義・笹田勝弘(京都工繊大)

- 11-3 空間周波数の特徴による画像の領域分割

重永 哲(凸版印刷)

- 11-4 カラー風景画像のアダマール変換符号化と画像圧縮

飯塚昌之(東工芸大)、駒井義弘(ソニー)

優秀ポスター表彰(16:40~16:50)

## 12. 画像とアメニティ (17:00~17:40)

座長 磯野春雄(NHK)

- 12-1 画像と感性工学(招待講演)

長町三生(広島大)

## 13. 画像通信 (17:40~19:20)

座長 酒井善則(東工大)

- 13-1 画像通信サービスの展望(招待講演)

一之瀬進(NTT)

- 13-2 画像の色度信号伝送の特性

栗田泰市郎・藤川善章(NHK)

- 13-3 文字・絵柄混在文書の適応符号化方式

白沢寿夫・今尾 薫・山田和作(リコー)

- 13-4 パソコンネットワークにおけるファイル型静止画像放送システム 田中 清・岡 一博・中村康弘・松井甲子雄(防衛大)

第3日目 12月12日(木) 9:00~11:40

14. 医用画像(1) (9:00~10:20)

14-1 医用画像システムの最新動向と将来展望(招待講演)

14-2 内視鏡時系列画像を利用したハレーション除去

14-3 SPECTにおける散乱線除去法に関する比較
- 座長 野原功全(放医研)

大山永昭(東工大)

小田紀彦・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫(東工大)

野波徹緒(オリンパス光学)

芝山 正・尾川浩一(法政大)
15. 医用画像(2) (10:20~11:40)

15-1 核磁気共鳴イメージによる生体内温度の計測

15-2 Morphological Filterによる微小石灰化像の抽出と乳癌診断

15-3 SVDを用いた脳磁イメージング系の解析

15-4 キロヘルツ域マイクロ秒パルスX線装置の開発と高速度X線テレビジョンシステム
- 座長 犬井正男(コニカ)

的崎 健(東京理科大)

金 華 栄・小畑秀文(東京農工大)

小尾高史・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫(東工大)

小椋有希子・関原謙介(日立)

佐藤英一・寒河江康朗・志子田有光・木村真吾・玉川芳春・柳沢 融(岩手医大)

講演時間(質疑応答を含む)

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 一般講演     | 20分               |
| 特別・招待講演  | 40分               |
| ポスタセッション | 90分/ロビーにおいて並行して発表 |

第22回画像工学コンファレンス -Japan Imaging Technology 91- 参加申込書

|                             |           |             |                |                 |
|-----------------------------|-----------|-------------|----------------|-----------------|
| 氏 名<br>(複数記入可)              |           |             |                |                 |
| 連絡先<br>電話/FAX               |           |             |                |                 |
| 所在地 〒                       |           |             |                |                 |
| 機関・所属名                      |           |             |                |                 |
| 資 格                         | 会 員       | 非会員         | 学 生            | 送 金 額<br>(予定) ¥ |
| 所属学会(所属するすべての学会に○印をつけてください) |           |             |                |                 |
| 応物光学<br>情報処理                | テレビ<br>印刷 | 電気<br>レーザー  | 電子情報通信<br>医療情報 | ME<br>計測制御      |
| 画像電子<br>非破壊検査               |           | 写真<br>JAMIT | 電子写真<br>SPIE   | 写真測量            |

# International Symposium on Supercomputing

November 6-8, 1991

Kyushu University (November 6)

Fukuoka Recent Hotel (November 7,8)

Sponsored by: Kyushu University  
Supported by: Information Processing Society of Japan/ The Japan Society of Mechanical Engineers/ The Japan Society for Industrial and Applied Mathematics/ Japan Society for Software Science and Technology/ YOKATOPIA Foundation

## Advance Program

November 6

### Tutorial: Supercomputing and Visualization

- 9:00 Opening
- 9:10 「数値シミュレーション結果可視化のためのボリュームレンダリング」  
小山田 耕二: 日本アイ・ピー・エム (株) 東京基礎研究所
- 9:35 「スーパーコンピュータ S-820 の動画像出力システム概要について」  
阿部 仁: (株) 日立製作所 神奈川工場 開発第1部
- 10:00 "Scientific Visualization on CRAY Supercomputer"  
Shinichi Matsumoto, Kazunori Mikami: Cray Research Japan
- 10:45 「SX-3 上のビジュアル・シミュレーション・システム (SXview)」  
篠原 明彦: 日本電気株式会社 C&C システム技術本部科学技術システム部
- 11:10 「可視化技術の応用と将来について」  
中野 守: 日本デジタルイクイップメント株式会社 システムエンジニアリング部アプリケーションサポートグループ、CAE 担当
- 11:35 「ビジュアライゼーションのためのコンピュータ・グラフィックス動画システム (CGMS)」  
恒川 隆洋: 富士通株式会社 第三システム統括部画像システム部

## Symposium on Supercomputing

- 13:30 Opening
- 13:35 **Keynote Speech** E. Goto, Kanagawa Univ. (Japan)
- Session 1**
- 14:20 **Invited Talk:** *Experience with Parallel Computers at NASA Ames*  
D. H. Bailey, NASA Ames Research Center (USA)
- 14:50 *Using Abstract Interpretation to Detect Array Data Dependencies*  
F. Masdupuy, École Polytechnique (France)
- 15:10 *Dependence Analysis between Pointer References in Pascal*  
A. Matsumoto, and T. Tsuda, Kyoto Univ. (Japan)
- Session 2**
- 15:50 **Invited Talk:** *on Computer Architecture* (to be announced)
- 16:20 **Invited Talk:** *Design and Implementation of a Vectorizing Compiler for the Block-Structured Language PASCAL*  
T. Tsuda, Kyoto Univ. (Japan)
- 16:50 *Communication Performance of the AP1000*  
H. Ishihata, T. Horie, S. Inano, T. Shimizu, S. Kato, and M. Ikesaka, Fujitsu Lab. Ltd. (Japan)
- 17:10 *Fast Hardware-based Algorithms for Elementary Function Computations*  
W. F. Wong\* and E. Goto\*†‡, \*ERATO, †Inst. Physical & Chemical Res., ‡Kanagawa Univ. (Japan)

## November 7

9:00 **Keynote Speech** G. H. Golub, Stanford Univ. (USA)

### Session 3

9:45 *The Optoelectronic Multicomputer Project: A semi-dataflow approach to large-scale parallel processing*  
A. B. Ruighaver, Univ. Melbourne (Australia)

10:05 *GRAPE: Special Purpose Computer for Simulations of Many-Body Systems*

T. Ebisuzaki\*, T. Fukushige\*, T. Ito\*, J. Makino\*, S. K. Okumura\*, D. Sugimoto\*, H. Hashimoto†, H. Tomida†, and N. Miyakawa†, \*Univ. Tokyo, †FUJI XEROX (Japan)

### Session 4

10:45 *The Design of a High Speed Supercomputer Memory System*

J. Gelsey, Convex Computer Corp. (USA)

11:05 *A Single-Chip Vector Processor Prototype Based on Streaming/FIFO Architecture*

T. Hironaka\*, T. Hashimoto\*, K. Okazaki\*, K. Murakami\*, and S. Tomita\*\*, \*Kyushu Univ., \*\*Kyoto Univ. (Japan)

11:25 *Hydra: A Resource-Shared Processor Architecture*

H. Hirata, Y. Mochizuki, A. Nishimura, Y. Nakase, and T. Nishizawa, Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (Japan)

11:45 *Supercomputing Pseudo Random Numbers - Proposals on Hardware and Software*

Y. Oyanagi\*, E. Goto\*\*, and N. Yoshida\*, \*Univ. Tokyo, \*\*Kanagawa Univ. (Japan)

### Session 5

13:30 **Invited Talk: Perfect Club Benchmark** (Tentative)

G. Cybenko, Univ. Illinois (USA)

14:00 **Invited Talk: The Activities of the EuroBen Benchmark Group**

A. J. van der Steen, Academic Computer Centre Utrecht (The Netherlands)

### Session 6

14:40 *Six Benchmark Problems for Number Crunchers*

W. F. Wong\*, E. Goto† ‡, Y. Oyanagi\*\*, and N. Yoshida\*\*, \*ERATO, †Inst. Physical & Chemical Res., ‡Kanagawa Univ., \*\*Univ. Tokyo (Japan)

15:00 *Performance Evaluation of Mathematical Functions*

T. Nagai\* and Y. Hatano\*\*, \*Nagoya Univ., \*\*Chukyo Univ. (Japan)

15:20 *Benchmarking Vector Indirect Load/Store Instructions*

T. Uehara and T. Tsuda, Kyoto Univ. (Japan)

16:00 **Panel Discussion on Benchmarking**

## November 8

### Session 7

9:00 *Vector Processing in Symbolic Determinant Expansion on Supercomputer*

H. Murao, Univ. Tokyo (Japan)

9:20 *Supercomputing for Numerical Cascade Tunnel*

M. Furukawa and M. Inoue, Kyushu Univ. (Japan)

9:40 *Parallel Image Generation for Scientific Visualization*

I. Oyake, T. Yoshida, Y. Wauke, and A. Kawai, Oki Electric Industry Co., Ltd. (Japan)

10:00 *A Parallel Rendering Machine for High Speed Ray Tracing*

O. Gwon\*, S. Murata\*, K. Murakami\*, and S. Tomita\*\*, \*Kyushu Univ., \*\*Kyoto Univ. (Japan)

### Session 8

10:40 *Experiments and Analysis toward Distributed Supercomputing on a Distributed Workstation Environment*

B. Apduhan, T. Sueyoshi, Y. Namiuchi, T. Tezuka, T. Fujiki, and I. Arita, Kyushu Inst. Tech. (Japan)

11:00 *Driving Design with Algorithm Characteristics The FPS Series 500 Matrix Coprocessor*

B. Carlile, D. Miles, and P. Pincus, FPS Computing (USA)

11:20 *A Vector Algorithm for Manipulating Boolean Functions Based on Shared Binary Decision Diagrams*

H. Ochi\*, N. Ishiura\*\*, and S. Yajima\*, \*Kyoto Univ., \*\*Osaka Univ. (Japan)  
 11:40 *SPICE<sup>3</sup>: A Program for Simulating Integrated Circuits on Hypercubes*  
 P. S. Pacheco, J. M. del Rosario, and T. Rashid, Univ. San Francisco (USA)

**Session 9**

13:30 **Invited Talk: Bi-CGSTAB (Tentative)**  
 H. A. van der Vorst, Univ. Utrecht (The Netherlands)  
 14:00 *Visualization of Convergence Behavior of Bi-CG STAB Method*  
 S. Fujino\* and M. Mori\*\*, \*Inst. Computational Fluid Dynamics, \*\*Univ. Tokyo (Japan)  
 14:20 *Highly Efficient Basic Numerical Software for Supercomputers*  
 N. Geers, and W. Walde, Univ. Karlsruhe (Germany)  
 14:40 *HIDM, A New Numerical Scheme to Solve Partial Differential Equations*  
 T. Watanabe, National Inst. Fusion Science (Japan)  
 15:00 *An Experience of the Study of the Theoretical Stability Analysis for a Family of Convection Diffusion Difference Schemes in the Supercomputing Environment*  
 S. Nagoya and T. Ushijima, Univ. Electro-Communications (Japan)

**Session 10**

15:40 **Invited Talk:Language Features for Concurrent Programming**  
 K. Araki, Kyushu Univ. (Japan)  
 16:10 **Invited Talk:(to be announced)**  
 16:40 *Performance Evaluation Using Random Number Generator and Ising Monte Carlo Simulation*  
 N. Ito\* and Y. Kanada\*\*, \*Japan Atomic Energy Research Inst., \*\*Univ. Tokyo (Japan)  
 17:00 *Streamlined Access for Indirect Addressing of an Array*  
 M. Ohta and T. Maeno, Tokyo Inst. of Tech. (Japan)  
 17:20 Closing

**参加登録案内 (日本国内参加者用)**

**登録料**

|         | 予約登録<br>(10月13日以前) |          | 登録<br>(10月14日以降) |          |
|---------|--------------------|----------|------------------|----------|
|         | Sympo.             | Tutorial | Sympo.           | Tutorial |
| 一般 (円)  | 20,000             | 4,000    | 28,000           | 7,000    |
| 学生 (円)  | 14,000             | 1,000    | 17,000           | 3,000    |
| 同伴者 (円) | 5,000              | —        | 10,000           | —        |

- シンポジウムの参加登録費には全セッションへの入場、会議録1冊、コピーブレイク、パーティへの費用が含まれます。チュートリアル参加登録費にはチュートリアル会場への入場、テキストの費用が含まれます。
- 同伴者の参加登録費にはパーティへの参加費用のみが含まれます。
- ここでいう学生とはフルタイムの学生のことを指します。

**登録用紙の請求**

登録用紙は下記までご請求下さい。  
 〒 812 福岡市東区箱崎 6-10-1  
 九州大学大型計算機センター  
 ISS'91 実行委員会事務局  
 FAX: 092-631-3196

または E-mail で  
 issreg@cc.kyushu-u.ac.jp  
 まで。

**登録費の払い込み方法**

参加登録費は銀行振込でお願いします。  
 振込先は  
 西日本銀行 箱崎支店  
 口座名: ISS'91 実行委員会 (吉田紀彦)  
 口座番号: 1207413

クレジットカード他の使用は御遠慮下さい。

**航空券及び宿泊予約**

航空券及び宿泊予約については下記で取り扱いをいたします。当会議への参加であることを明記した上でお申し込み下さい。

〒 812 福岡市博多区博多駅前 2-9-28 福岡  
 商工会議所ビル内 日本交通公社団体旅行  
 九州支店営業第3課 沢田直道  
 電話:092-451-6735 FAX: 092-431-1272

## 情報処理学会欧文誌 Journal of Information Processing

## 特集 グラフィクス 論文募集

欧文誌編集委員会

グラフィクスの研究開発の環境は、最近のワークステーションの普及と高性能化にともない急速に変化してきています。これにともなって、ユーザインタフェースとしてのグラフィクスの役割はますます重要なものとなり、その応用分野が広がってきています。その欧文誌 (JIP) において「特集グラフィクス」を平成4年6月を目標に発行することにいたしました。このテーマに関する論文を募集しますので、奮ってご寄稿ください。

## 1. 対象分野

(主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれに限りません)

- グラフィクスの基礎：表示技術，リアリズムの追及，グラフィクス入力，データ構造とデータベース，マンマシンインタラクション
- グラフィクスシステム：グラフィクス言語とソフトウェア，グラフィクスデバイスとワークステーション，標準化
- グラフィクスの応用：アニメーションとアート，ビジネスグラフィクス，文書や画像の処理，CAD，応用事例

## 2. 執筆要綱

最初のページに「特集グラフィクス」と朱記してください。この他の執筆要綱は通常の論文と同じです。各 JIP の末尾に掲載されている「Information for Authors」を参照してください。

## 3. 締切日 平成3年9月30日(月) 必着

## 4. その他

この特集号ではカラー印刷が使用可能です。詳細は学会事務局までお問い合わせください。

## 支 部 だ よ り

## 北海道支部 支部大会案内——平成3年度電気関係学会北海道支部連合大会

期 日 平成3年10月5日(土)，6日(日)

会 場 北海道大学工学部(札幌市北区北13条西8丁目)

特別講演 技術開発について

深井 一郎(北大)

懇親会 10月5日(土)18:00～ 北海道大学クラーク会館大集会室

正会員3,500円，学生会員2,000円，当日受付。

問合せ先 060 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部電気工学科事務局

電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局 Tel. 011 (716) 2111 (内 6542 (早田))

## 中部支部 支部大会案内——平成3年度電気関係学会東海支部連合大会

期 日 平成3年11月28日(木)，29日(金)

会 場 豊橋技術科学大学(豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1)

特別講演 高度情報ネットワークの諸問題(28日午後)

秋丸 春夫(豊技大)

シンポジウム(依頼講演)

電力技術における最近の展開

座長 鬼頭 幸生(名大)

最近のプラズマの基礎と応用

座長 高村 秀一(名大)

超電導デバイス技術

座長 早川 尚夫(名大)

光情報処理の現状と将来

座長 宮崎 保光(豊技大)

自然言語処理技術の現状と展望

座長 稲垣 康善(名大)

CAD/CAM から CIM へ

座長 伊藤 誠(中京大)

**一般参加費** 講演者以外は、参加費（会員 500 円、会員外 800 円、学生無料）を当日受付で支払い、参加章を受け取る。ただし、論文集購入者は参加費不要。

**懇親会** 28 日（木）夕刻 豊橋技術科学大学福利施設 会費 3,500 円（学生 2,000 円）  
参加希望者は当日大会受付で会費を添えて申し込むこと。

**問合せ先** 460 名古屋市中区大須 4-9-60 NTT 東海支社技術開発部内  
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. 052 (291) 2466

**支部大会案内——平成 3 年度電気関係学会北陸支部連合大会**

**日時** 平成 3 年 10 月 4 日（金）、5 日（土）  
4 日（金） 一般講演、特別講演（午後 3 時 30 分）、懇親会（午後 6 時）  
5 日（土） 一般講演

**会場** 石川工業高等専門学校（石川県河北郡津幡町北中条）JR 津幡駅より徒歩 15 分、タクシー 600 円。

**特別講演** 制御の統合と融合 長谷川健介（東工大名誉教授・桐蔭横浜大）

**問合せ先** 929-03 石川県河北郡津幡町北中条 石川工業高等専門学校電気工学科内 電気関係学会北陸支部連合大会実行委員会 Tel. 0762 (88) 8114・8110・8133

**講演会**

**日時** 平成 3 年 11 月 13 日（水）15:00～17:00

**会場** 静岡大学工学部情 1 教室（浜松市城北 3-5-1）

**演題** 計算論的学習理論の現状と動向 西野 哲朗（東京電機大）

**参加費** 無 料（参加資格は問いません）

**問合せ先** 静岡大学工学部情報知識工学科 山口高平 Tel. 053 (471) 1171 (502)

**中国支部 支部大会案内——平成 3 年度電気・情報関連学会中国支部連合大会**

**日時** 平成 3 年 10 月 27 日（日）9:00～17:00

**会場** 広島工業大学（広島市佐伯区三宅 2-1-1）

**懇親会** 10 月 27 日（日）特別講演終了後、会費 3,000 円  
はがきで 10 月 17 日（木）までに下記申込先宛送ること。なお、会費は当日受付で支払うこと。

**申込先** 730 広島市中区小町 4 番 33 号 中国電力(株)工務部内 電気学会中国支部事務局 岡永 正  
Tel. 082 (241) 0211 (内 3418)

**四国支部 支部大会案内——平成 3 年度電気関係学会四国支部連合大会**

**期日** 平成 3 年 11 月 1 日（金）

**会場** 四国電力総合研修所（高松市屋島西町 1850-1）

**問合せ先** 790 松山市文京町 3 愛媛大学工学部電気電子工学科内  
電気関係学会四国支部連合大会論文編集委員会 Tel. 0899 (24) 7111 (内 3748)

**九州支部 支部大会案内——電気関係学会九州支部第 44 回連合大会**

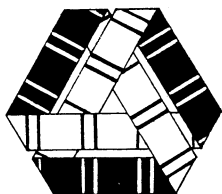
**期日** 平成 3 年 10 月 4 日（金）、5 日（土）

**会場** 福岡工業大学工学部（福岡市東区和白 3-30-1）

**問合せ先** 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部電気工学教室内  
電気関係学会九州支部連合大会（郵便振替口座番号 福岡 8-33001）Tel. 092 (641) 1101 (内 5300)



# 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*：本年既掲載分，\*\*：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

## 国際会議

### TACS '91—Int'l. Conf. on Theoretical Aspects of Computer Software (\*\*091)

- September 24-27, 1991
- Tohoku University, Sendai, Japan
- TACS '91 Advance Registration  
Sendai Branch, Tokyu Tourist Co. Nisseki Tokyu  
Sendai Bldg. 2F 1-6-18, Chuo, Aoba-ku, Sendai,  
Japan 980  
Tel. 022 (263) 3232, FAX 022 (265) 5765

### 5th Int'l. Forum on Specification and Description Language (056)

- September 29-October 4, 1991
- Glasgow, UK
- Delegates Name c/o SDL From Hospitality Inn  
Cambridge Street Glasgow G2 3HN  
Tel. 041 (332) 3311, FAX 041 (332) 4050

### ISMCR '92—第2回 ロボットにおける計測と制御国際シンポジウム (057)

- 1992年11月16日(月)～18日(水)
- 工業技術院筑波研究センター共同講堂（つくば市東）
- (社)計測自動制御学会  
Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699
- 論文申込締切：1992年1月10日

### IMSA '91—新ソフトウェア構造化モデル国際シンポジウム & ワークショップ '91 (\*044)

2. 国際シンポジウム：1991年11月18日(月)，早稲田大学総合学術情報センター（東京都新宿区西早稲田）  
国際ワークショップ：1991年11月19日(火)，大磯プリンスホテル（神奈川県中郡）
- 主催：(財)ソフトウェア工学研究財団，他  
問合せ先：(株)エス・アール・シー内 IMSA '91 会議事務局 Tel. 03 (5472) 5545, FAX 03 (3434) 2789

### 国際シンポジウム「情報通信先端技術シンポジウム／関西」 (058)

- 1991年11月25日(月)～26日(火)
- 神戸国際会議場，他

- 郵政省通信総合研究所 関西先端研究センター内 シンポジウム開催委員会事務局 占部，西村  
Tel. 078 (967) 4196, FAX 078 (967) 4198
- 参加料：30,000 円

### GRAFCET '92 (059)

- March 25-26, 1992
- Paris, FRANCE
- AFCET-GRAFCET '92 156 Bd Péreire, 75017-Paris (France)  
Tel. +33. 1. 47. 66. 24. 19, FAX +33. 1. 42. 67. 93. 12
- Deadline of abstracts: October 1, 1991

### 8th Annual ACM Symposium on Computational Geometry (060)

- June 10-12, 1992
- Berlin, Germany
- Prof. David Avis (Program Committee Chair), School of Computer Science, McGill University, 3480 University, Montréal, Québec, Canada H3A 2A7 email: avis@opus.cs.mcgill.ca
- Submission deadline: December 1, 1991

### 2nd Int'l. Conf. on Artificial Intelligence in Design (061)

- June 22-25, 1992
- Pittsburgh, USA
- 国内連絡先：東京大学精密機械工学科 富山 哲男  
Tel. 03 (3812) 2111 (内 6454), FAX 03 (3812) 8849
- Full papers due: December 2, 1991

### 2nd Int'l. Conf. on Private Switching Systems and Networks (062)

- June 23-25, 1992
- London, UK
- PSSN Secretariat Conference Services The Institution of Electrical Engineers Savoy Place London WC2R 0BL, United Kingdom  
Tel. 071 (240) 1871 (Ext. 222), Telex 261176 IEELDNG, FAX 071 (497) 3633

### EUROGRAPHICS 92 (063)

- September 7-11, 1992
- Cambridge, England
- 国内連絡先：東京大学精密機械工学科 富山 哲男  
Tel. 03 (3812) 2111 (内 6454), FAX 03 (3812) 8849
- Abstracts 締切: December 6, 1991

### JKAW 92—第2回 エキスパートシステムのための知識獲得ワークショップ (064)

- 1992年11月9日(月)～13日(金)
- 神戸国際会議場，他
- (社)人工知能学会  
Tel. 03 (5261) 3401, FAX 03 (5261) 3402

### COMMP '93—材料設計およびプロセス工学へのコンピュータ利用に関する国際会議 (065)

- 1993年9月6日(月)～9日(木)
- 日本都市センター（東京）
- (社)日本鉄鋼協会 国際室 Tel. 03 (3279) 6021
- Abstracts 締切: 1992年9月14日

## 国内会議

## 理研シンポジウム第12回「非接触計測と画像処理」

1. 1991年10月16日(水)
2. 理化学研究所(埼玉県・和光市)
3. 理化学研究所・情報科学研究室・出澤 正徳  
Tel. 0484 (62) 1111 (内 3252), FAX 0484 (62) 4651
4. 参加費: 無料

## 講習会「液晶ディスプレイ(LCD)とその周辺技術」

1. 1991年10月16日(水)~17日(木)
2. 科学技術館(東京都千代田区北ノ丸公園)
3. (社)テレビジョン学会 講習会係  
Tel. 03 (3432) 4677, FAX 03 (3432) 4675
4. 参加費: 会員 28,000 円, 学生会員 8,000 円,  
非会員 38,000 円

## 平成3年度 AVIRG-SMC サマーセミナー「シミュレーション・アニーリングとジェネティックアルゴリズム」

1. 平成3年10月18日(金)
2. 東京大学生産技術研究所(港区六本木)
3. NHK 放送技術研究所視覚情報研究部 藤井 真人  
Tel. 03 (5494) 2369, FAX 03 (5494) 2371
4. 参加費: AVIRG 会員 2,000 円, 一般 3,000 円,  
学生 1,000 円

## 「人」中心のオフィス環境とヘルスケアシンポジウム

1. 1991年10月23日(水)
2. TOWA りふホール(大阪市北区)
3. 日刊工業新聞社大阪支社 業務局第三業務部  
Tel. 06 (946) 3360

## ALT '91—第2回 計算論的学習理論ワークショップ

1. 1991年10月23日(水)~25日(金)
2. CSK 情報教育センター(東京・多摩)
3. 参加申込先: (社)人工知能学会 ALT '91 係  
Tel. 03 (5261) 3401, FAX 03 (5261) 3402
4. 参加費: 会員 17,000 円, 非会員 22,000 円,  
学生 10,000 円

## 理化学研究所「国際フロンティア研究システム第I期研究成果報告会」

1. 平成3年11月5日(火)
2. 経団連会館(東京都千代田区大手町)
3. 理化学研究所 フロンティア研究推進部  
Tel. 0484 (62) 1111 (内 6141)
4. 入場無料

SICE 基礎講習会—H $\infty$ 制御入門—

1. 1991年11月6日(水)~7日(木)
2. 東京大学工学部(文京区本郷)
3. (社)計測自動制御学会  
Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699
4. 参加費: 会員 21,000 円, 学生 10,500 円,  
会員外 31,500 円

## 第12回 日本医用画像工学会セミナー

1. 平成3年11月8日(金)
2. 国立がんセンター国際研究交流会館
3. 日本医用画像工学会事務局  
Tel. 03 (3814) 5451, FAX 03 (3811) 0676
4. 参加費: 会員 5,000 円, 非会員 7,000 円, 学生 2,500 円

## 第14回 国際会議のための準備セミナー

1. 1991年11月16日(土)~17日(日)
2. 海外職業訓練センター研修施設(千葉市)
3. (社)日本工学会  
Tel. 03 (3475) 4621, FAX 03 (3403) 1738
4. 参加費: 80,000 円

## 第8回 光波センシング技術研究会

1. 1991年12月17日(火)~18日(水)
2. 藤倉電線本社(東京都江東区木場)
3. 連企画気付 光波センシング技術研究会事務局  
Tel. & FAX 03 (3433) 2543
4. 参加費: 10,000 円

## 講習会「ファジィ理論と知識獲得」

1. 平成4年1月24日(金)
2. 三田出版会(大阪市北区中崎西)
3. 大阪工業大学工学部経営工学科  
日本ファジィ学会関西支部 和多田淳三  
Tel. 06 (952) 3131, FAX 06 (952) 6197
4. 参加費: 会員 10,000 円, 学生 5,000 円,  
非会員 15,000 円

## FA・IMS '92—新生産・情報システム展—

1. 平成4年3月3日(火)~6日(金)
2. 晴海見本市会場(東京)
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部  
Tel. 03 (3252) 8157, FAX 03 (3256) 5746
4. 入場料: 500 円

## 教官募集



### ○大学等情報関係教官募集

#### 山口大学教養部

募集人員 教授、助教授または講師 1 名  
 専門分野 情報科学（広い意味での情報科学を含む）  
 担当科目 総合科目（情報環境論）〔電算機概論及び情報関連の総合コース〕  
 応募資格 年齢 56 歳以上、35 歳以下で、電算機概論の講義と総合コースのマネージメントが可能なる者。  
 採用予定 平成 4 年 1 月 1 日または 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、研究業績一覧表、著書及び発表文献の別刷またはコピー、研究業績の要約、情報科学教育に関する抱負(1,500 字程度)、本人の業績等について、照会に応じられる方の氏名。  
 応募締切 平成 3 年 10 月 19 日  
 送付先 753 山口市大字吉田 1677-1  
 山口大学教養部長 西岡道夫  
 「情報環境論教官応募書類在中と朱書し」書留。  
 問合せ先 書類請求先 教養部庶務係  
 Tel. 0839 (22) 6111 (内 503)

#### 北海道教育大学教育学部旭川分校

募集人員 助教授または講師 1 名（年齢 35 歳まで）  
 専門分野 電気工学（技術）  
 応募資格 平成 3 年 10 月 19 日  
 070 旭川市北門町 9 丁目 北海道教育大学教育学部  
 旭川分校技術研究室 高木富士男  
 Tel. 0166 (51) 6151 (内 351) 詳しい応募書類を送付します。

#### 立命館大学理工学部

募集人員 教授 1 名  
 担当科目 通信工学関連科目（ほかに電気電子系基礎科目も担当していただくことがあります）  
 専門分野 通信・電子応用（光通信、光エレクトロニクス）  
 応募資格 年齢 55 歳位までで、博士の学位を有し、大学院博士後期課程の指導が可能なる者。  
 着任時期 平成 4 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、業績リスト（論文、著書、学会講演、その他に分けて記入）、主要論文別刷、健康診断書、研究、教育に対する抱負について記し、形式は指定なし。  
 応募締切 平成 3 年 10 月 31 日  
 送付先 603 京都市北区等持院北町 56-1  
 立命館大学理工学部電気工学科  
 学科主任 浦山 隆  
 問合せ先 Tel. 075 (465) 1111 (内 3654)

#### 弘前大学人文学部

募集人員 助教授または講師 1 名  
 専門分野 経営科学（将来情報処理教育も担当できる者）  
 応募資格 上記の分野で研究業績がある方。35 歳以下が望ま

しい。  
 採用予定 平成 4 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、研究業績目録、論文全点、健康診断書、推薦状および成績証明書。  
 応募締切 平成 3 年 10 月 31 日  
 送付先 036 弘前市文京町 1 番地 弘前大学人文学部経済学科「経営科学教官応募書類」と朱書し、書留。  
 経済学科教授 新井一夫  
 問合せ先 Tel. 0172 (36) 2111 (内 3699)

#### 筑波大学電子・情報工学系

募集人員 教授、助教授または講師若干名  
 専門分野 情報科学、情報工学、システム工学  
 応募資格 博士の学位を有し、相当の研究実績があること。筑波大学情報学類または工学システム学類で下記のいずれか、またはそれに近い科目の講義が可能であること。  
 電気・電子回路、システム工学、システム制御、組合せ数学、数値解析、数値シミュレーション、プログラム言語、ソフトウェア工学、人工知能（問題空間探索など）。  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文の別刷、本人について所見を求め得る方の氏名、職名、連絡先。  
 応募締切 平成 3 年 10 月 31 日  
 着任時期 決定後できるだけ早い時期  
 送付先 305 茨城県つくば市 筑波大学  
 電子・情報工学系長 中田育男  
 問合せ先 Tel. 0298 (53) 4969

#### 津山工業高等専門学校情報工学科

募集人員 講師または助教授 1 名  
 所属 情報工学科  
 専門分野 電子、情報工学及びその関連分野  
 応募資格 専門分野に研究業績があり、教育、研究に熱心な者。  
 着任時期 平成 4 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷。  
 応募締切 平成 3 年 10 月 31 日  
 送付先 708 津山市沼 624-1  
 津山工業高等専門学校校長 和田 力  
 「情報工学科教官応募」と朱書し書留。  
 問合せ先 情報工学科主任 三木成彦  
 Tel. 0868 (22) 2191

#### 東京都立工業高等専門学校機械工学科

募集人数 講師または助教授 1 名  
 専門分野 メカトロニクス関連（制御、情報、電気などに関連のある方。生産システムに関心があればなお可。）  
 応募条件 (1)理工学系の学科の出身者で、博士の学位を有するかまたはこれに相当する能力・業績があると認められる者。(2)年齢は 28 歳から 40 歳までの者。(平成 4 年 4 月 1 日現在)  
 採用時期 平成 4 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（研究論文、著書、国内・国外における学会活動状況等）、主要論文の別刷（コピー可）、推薦書、学部卒業または大学院修了証明書  
 応募期限 平成 3 年 11 月 9 日  
 送付先 140 品川区東大井一丁目 10 番 40 号  
 東京都立工業高等専門学校  
 機械工学科主任教授 石田良男  
 問合せ先 Tel. 03 (3471) 6331 (代)

# 雑 報



## ○第32回(平成3年度)東レ科学技術賞/科学技術 研究助成候補者募集

- 技術賞 学術上の業績顕著なもの、学術上重要な発見、重要な発明でその効果が大きいもの、重要な問題を解決し技術の進歩に大きく貢献したもの。
- 研究助成 基礎的な研究で、その成果が科学技術の進歩、発展に大きく貢献すると考えられる独創的・萌芽的研究を活発に行っている若手研究者、またはグループ
- 推薦締切 9月30日(学会)
- 問合せ先 279 浦安市美浜 1-8-1 東レビル  
(財)東レ科学振興会 Tel. 0473 (50) 6103

## ○(財)電気通信普及財団「平成3年度研究調査助成」 募集

- 電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査および電気通信技術の振興、普及に関する研究調査を助成します。詳細は下記へお問合せください。
- 申込受付 平成3年11月1日～30日
- 問合せ先 105 港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル5階  
(財)電気通信普及財団  
Tel. 03 (3580) 3411 FAX 03 (3580) 3488

## ○スーパーコンピュータのCPU 提供研究論文募集

- 研究テーマ スーパーコンピュータの利用法に関するテーマであれば、分野は問いません。ただし、単に大きな計算を行うというものではなく、スーパーコンピュータを用いて初めて実現するといったような、独創的なテーマを広く募集いたします。
- 提供内容 1991年11月より1992年10月末までの期間、弊所のSX-2AのCPU時間を全テーマの合計で400時間提供いたします。
- 応募資格 大学または国公立研究機関の研究者または研究グループ(大学院の学生を含む)

## テーマ執筆要項

- A4判用紙
- 英語または日本語のワードプロセッサ使用
- 形態 第1ページ 表題、氏名、所属、役職または学年、連絡先住所及び電話番号、電子メールアドレス(もしあれば)、連名の場合は全員記入のこと
- 第2ページ以降 本文(2ページ以内)、使用計画(何月に何時間使用を明記のこと)

## SX-2A の利用形態

当研究所に設置してある端末から利用していただきます。(旅費の支給は行いません)

## 応募締切 審査委員

1991年10月1日 午前9時までに必着  
当研究所を中心に、審査委員会を設け審査いたします。

## 発表

1991年10月下旬、入選テーマ2組を選出し、応募者全員に結果を通知いたします。

## 研究成果

- 研究成果は、研究者本人に帰属します。
- 提供期間が終わった段階で、研究成果報告のレポートを提出していただきます。(レポートは当研究所のニュースレター“Vector Register”に掲載いたします)

## 問合せ先

104 中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カチドキ  
15階(株)リクルート スーパーコンピュータ研究所  
CPU提供制度係 Tel. 03 (3536) 7770

## ○ILAS/RIS サイエンスチームメンバー募集

## 研究分野

ADEOS 衛星搭載の改良型大気周縁赤外分光計(ILAS)、及びレーザー光反射用リトロフレクタ(RIS)利用長光路レーザー吸収測定に係る以下の研究:

①ILAS プロジェクト インバージョン法によるデータ解析アルゴリズムの開発、スーパーコンピュータ利用の吸収スペクトル高速演算アルゴリズムの開発、赤外・可視分光器地上校正実験、データ処理・運用ソフトウェア(データベースネットワークを含む)システムの開発、打ち上げ後検証実験の企画・実施、データ利用研究(極域成層圏の大気化学・力学過程等)

②RIS プロジェクト レーザ長光路吸収測定実験、インバージョン法によるデータ解析アルゴリズムの開発、打ち上げ後検証実験の企画・実施、データ利用研究(大気微量成分の化学等)

## 待遇等

国立環境研究所客員研究員、共同研究員  
ILAS・RISサイエンスチームプロダクト(ソフトウェア、データ)の優先利用。

## 問合せ先

305 つくば市小野川 16-2 国立環境研究所  
オゾン層研究チーム Tel. 0298 (51) 6111

## 編集室



### 会員の声

32巻8号について、以下のような会員の声が寄せられました。

●テーマのためとは思いますが、数式のラレツ論文ではなくひさかたぶりに全文を熟読できた。この手の共通理念的な論文(記事)が毎回1つは欲しいと考える。各論は論文集にまかせて、学会誌は動向掌握の紹介に徹した方がより有益と思われる。

p. 1003の記事は真に的をえた内容に思える。再度久々によめた、という思いである。

(匿名希望 東京 企業勤務)

●全体の構成が、一般大衆にも分かりやすい。年に数回このような企画をして欲しい。

密接な関係にあるCS・ACMの報告は、非常に参考となった。中国、韓国、東南アジアの活動状況報告を企画して欲しい。  
(匿名希望 東京)

●「IEEE Computer Society (CS) および Association for Computing Machinery (ACM) の最近の活動状況について」の記事中に、入会手続き、年会費など身近なことも書いていただきたかった。私自身、IEEE-CSの東京オフィスとはしばしばコンタクトしているが、ACMの日本における窓口を知りません。

(田邊 拓 広島修道大学)

●IEEE-CSについてはアジアオフィス(Tel. 03 (3408) 3118)に連絡すれば申込用紙を入手出来ます。本学会会員番号を記入すれば、推薦者(Endorser)は不要です。送付先はIEEE-CSアジアオフィス(〒107 東京都港区南青山2-19-1 大島ビル内)、年会費は現在\$54.00(7,560円)です。

ACMは日本の窓口がなく米国の本部に直接連絡する必要がある、申込用紙はACMの会誌(CACM)に入っているものを利用するのがよいと思います。年会費は現在姉妹学会の場合\$57.00(ドルのみ)、推薦者は不要です。

今後本学会に申込用紙を用意することなどを検討していきたいと考えております。

### 事務局だより—CSカリキュラムJ90について

本学会は、文部省高等教育局より「大学等における情報処理教育のための調査研究」の委嘱を平成元年度から受け、平成2年度まで2年間、学会内に委員会(委員長野口正一(東北大学)、委員 大学側20名、産業界15名)を設け調査研究を行ってきました。具体的な活動は、全体委員会と3つの分科会 Computer Science (主査 牛島教授(九州大学))、Information Systems (主査 国井教授(東京大学))、藤野支配人(日本電気))、一般情報処理教育(主査 大岩教授(豊橋技術科学大学))により行われてきました。

この結果、平成2年度は、ACMカリキュラム'78, ACM'88報告、最近の学問の進歩、わが国固有の情報処理問題などを取り入れた「IPSJ CSカリキュラムJ90」の提案を含んだ報告書が作成されました。報告書の取りまとめ役の中森先生は、何日も徹夜作業をされるなど苦労が多かったことと感謝いたしております。

この調査研究の事務をお手伝いしながら、委員会の審議を傍聴させていただきましたが、当初は大学側と産業界側の立場の違い、内部事情の相違などにより、相当な激論がなされ、私も驚きましたが、元々情報処理教育を良くして行こうという方々の集まりであるので、討議が深まるにつれて方向づけがなされ、委員長を始め各委員の大変な苦労の結果、この報告書がまとまったとの感慨を持った次第です。諸先輩を始め多くの関係者の努力もあり、情報処理教育カリキュラムの問題は、あらたな転機を迎えたところとも言えるのではないのでしょうか。

本年度は、大学等における「情報システム学」ならびに「一般情報処理教育」に関する調査研究の委嘱が文部省からあり、それぞれに対応する委員会を設置し、前記の委員会できちんとした方針と資料等を受け継いで調査研究が行われることとなっています。情報処理カリキュラム調査委員会におけるCSの研究の深度化・進展と併せて大きな期待をいたしつつ、事務局もお手伝いしてこうと計画しております。

なお、報告書の頒布申込書を本号の会告32頁に掲載いたしましたので、お早めに申込まれることをお勧めいたします。  
(飯塚 浩司)

# 入会のおすすめ

## 情報処理学会とは…

本会は1960年に情報処理に関する学術・技術の進歩発展を図り、会員相互の連絡研修の場として設立されました。以来多くの会員の活動、ならびに関連学協会および官界・産業界の支援のもとに、学術文化の発展に大きく寄与してきました。その活動も、基礎理論から応用まで情報処理全般におよび、その成果を広く学界および産業界に発表してきました。また、創立と同時に IFIP に加盟するとともに ISO, IEC へ参画するなど国際的学術交流、あるいは標準化活動に貢献してきました。

これからも学術・文化のあらゆる領域に変革をもたらしつつある情報処理分野に指導的役割を果たすとともに、その発展に貢献していきたいと願っています。そこで、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。

## こんなことをやってます！

### →機関誌の発行

- 学会誌「情報処理」：月刊、B5判、解説、本会記事、各種活動案内および報告など。
- 論文誌「情報処理学会論文誌」：月刊、B5判(和文論文掲載)。
- 欧文誌「Journal of Information Processing」(JIP)：季刊、A4変形判(欧文論文掲載)。

### →調査研究活動

- 調査委員会：特定の課題について調査研究を行い、学術の進歩に資することを目的とする。
- 研究会：研究分野ごとに会を組織し、その分野に関して年間4回以上会員による研究発表会(公開)を開催し、研究報告を作成する。
- 研究グループ：特定分野の短期集中的研究開発や、新しい研究分野となり得る苗床的研究。

### →全国大会の開催

- 春(東京開催)、秋(地方開催)の年2回開催し論文集の予約販売を行う。また会員の関心の高い分野のチュートリアルを併催。

### →シンポジウム、講習会、講演会、セミナーの開催

- 各研究分野の主要課題などについて年間に15～20回程度開催。

### →表彰

- 功績賞：情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員を毎年2名程度選ぶ。
- 論文賞：前々年の10月から前年の9月までの間に、「情報処理学会論文誌」および「JIP」に発表された論文の中から最も優秀と認める4編以内選ぶ。
- 研究賞：2グループに分けた研究会(含シンポジウム)発表(2年以内)論文の中から、優秀な論文1編ずつ選ぶ。
- 奨励賞：全国大会ごとに優秀と認められる若手の登壇者の中から10名程度選ぶ。
- Best Author 賞：学会誌に掲載された記事の中で最も多くの会員の興味を呼び、分かりやすいと評価された著者に贈呈する。

### →情報規格調査会

- ISO(国際標準化機構)、IEC(国際電気標準会議)、JISなど標準規格の調査研究。

### →国際学術交流

- IFIP、ACM、IEEE-CS、IAPRなど。
- 国際会議の主催、共催。

### →学術図書の発刊

- 情報処理ハンドブック、情報フロンティアシリーズなど。

### →支部の活動

- 北海道、東北、中部、関西、中国、四国、九州(7支部)。
- 各支部にて、総会、講習会、見学会など。

→関連学協会との連絡、協力

- 電気・情報関連学会連合大会年1回共催。 ●シンポジウムなどの共催、協賛、後援など。

たとえば最近では…

→学会誌「情報処理」の特集内容

- 新しいプログラミング環境 (Vol.30, No.4) ●ファジィ情報処理とその応用 (Vol.30, No.8)
- コンピュータビジョンにおける手法 (Vol.30, No.9) ●自然言語理解 (Vol.30, No.10)
- 新しいアーキテクチャに基づくコンパイラ技術 (Vol.31, No.6) ●CASE環境 (Vol.31, No.8)
- 30年後の情報処理 (Vol.32, No.1) ●計算論的学習理論とその応用 (Vol.32, No.3)

→研究会名称 (21)

- 自然言語処理 ●ヒューマンインタフェース ●データベース・システム
- グラフィクスとCAD ●人工知能 ●数値解析 ●記号処理 ●情報システム
- ソフトウェア工学 ●プログラミング言語・基礎・実践一
- マイクロコンピュータとワークステーション ●情報学基礎 ●計算機アーキテクチャ
- コンピュータと教育 ●オペレーティング・システム ●アルゴリズム
- コンピュータビジョン ●人文科学とコンピュータ ●設計自動化
- 情報メディア ●マルチメディア通信と分散処理

→シンポジウム

- 1990年並列処理 (平成2年5月17日～19日)
- SE教育のあり方と今後の課題 (平成2年11月30日～12月1日)
- マルチメディア情報と分散処理 (平成2年11月16日)
- アドバンスド・データベース・システム (平成2年12月5日～6日)
- 第32回プログラミング・シンポジウム (平成3年1月8日～10日)
- 1991情報学シンポジウム (平成3年1月8日～9日)

そして会員になるとこんなことができます！

- 学会誌が無料で配布されます。 ●論文誌、欧文誌への寄稿と論文賞の推薦ができます。
- 学会誌への寄稿とアンケートによる Best Author 賞の推薦ができます。
- 論文誌、欧文誌が会員特価で購読できます。 ●発行図書が会員特価で購入できます。
- 研究会への登録 (研究報告無料配布) と発表ができます。
- 全国大会での論文発表と優先参加ができます。
- シンポジウム、講習会、講演会、セミナーなどへの優先参加および参加費の割引があります。
- 情報処理学会主催、あるいは共催の国際会議への優先参加、および参加費の割引があります。
- 支部活動 (研究会、講習会、見学会等) に参加できます。
- ACM 会費が20%割引になります。また、IEEE-CS 準会員の特典が受けられます。
- 希望者には IAPR NEWSLETTER が配布されます。
- 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会に入会する時、入会金が免除されます。
- 正会員には\*選挙権、被選挙権があります。
- 正会員には\*総会出席権、議決権があります。

※直接選挙によって選出された役員によって理事会を構成し、総会決定の事業計画にもとづき、会員のために運営されております。

入会するには……

所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、紹介者(本会の正会員)の署名と捺印を得て、下記の通り入会金および年間会費を添えてお申し込みください。ただし、電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会の会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、入会金の納入を免除します。なお、年間会費は4月から翌年3月までの会費ですので、年度途中の入会の場合、繰りこし額を送付したバックナンバーの誌代を含め、翌年度会費請求時に精算いたします。

○会員の種別、入会金、年間会費

| 会 員 種 別   |       | 資 格                                                        | 入会金    | 年間会費             | 学会誌        | *論文誌          | *欧文誌          | 研究会登録                        |
|-----------|-------|------------------------------------------------------------|--------|------------------|------------|---------------|---------------|------------------------------|
| 個人<br>会 員 | 正 会 員 | 専門の学識または相当の経験を有する者                                         | 2,000円 | 9,600円           | 無 料<br>送 付 | 有 料<br>4,500円 | 有 料<br>3,000円 | 各研究会ごとに<br>2,500円～<br>4,000円 |
|           | 学生会員  | 大学学部および大学院修士課程まで                                           | —      | 4,800円           | 無 料<br>送 付 | 有 料<br>4,500円 | 有 料<br>3,000円 | ”                            |
| 賛 助 会 員   |       | 本学会の目的事業を賛助する団体                                            | —      | 1口につき<br>50,000円 | 無 料<br>送 付 | 有 料<br>4,500円 | 有 料<br>3,000円 | ”                            |
| 購 読 員     |       | ○大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体<br>○賛助会員である企業の事業所あるいは研究所 | —      | 1口につき<br>20,000円 | 無 料<br>送 付 | 無 料<br>送 付    | 無 料<br>送 付    |                              |

- ・ 非会員の場合は、論文誌 7,800円、欧文誌 6,000円（学会誌は1冊1,600円/2,000円）
- ・ 何口でも可

○一括扱いについて

同一事業所または研究所に10名以上の会員がいる場合には、会員の希望により、会費の一括納入と学会誌の一括配布の制度を利用することができます。学会事務局の会員係（一括担当）へお問い合わせください。

○入会後の会費納入について

会費は前納を原則とします。したがって毎年1月下旬に請求しますので、新年度の始まる前月の3月末までに納入していただきます(会費の分納は認められません)。

○会費の預金口座自動振替納入について

正会員（前記一括扱いの会員は除く）の方は、会費および購読費を毎年3月27日（休日の場合は翌営業日）にご指定の銀行などの預金口座から自動振替により納入することができます(研究会登録費は取扱いません)。

希望者は所定の預金口座振替依頼書にてお申し込みください。ただし新入会時の入会金・会費・購読費は取扱いません。

○入会後の機関誌配布について

機関誌は通常入会が理事会で承認された翌月から送付いたします。

# 記入要領

該当するものに○をつけ、網かけ以外を黒インク、黒ボールペンで記入して下さい。

(注意点) ○ 数字は算用数字とする。

○ カナ記入欄では、濁音、半濁音は2文字として記入する。(例) ヤマサ<sup>リ</sup>キ

○ 漢字記入欄では、ひらがな・カタカナの濁音、半濁音、英文字は、1文字として記入する。(例) が<sup>ビ</sup>A<sup>g</sup>8

## (記入例)

### 社団法人 情報処理学会 入会申込書 (黒インク、黒ボールペンを使用し、網かけ以外を記入してください。)

⑤ 本申込書と入会金および会費の送金を以て入会の手続きとします。詳細は、「入会のおすすめ」をご覧ください。

正会員：専門知識又は、相当の経験を有する者  
学生会員：大学及び大学院修士課程まで

・住所は都道府県から記入する  
・○丁目○番○号は○—○—○のように記入する  
・次の文字は1マスに記入する

|   |   |   |    |
|---|---|---|----|
| ア | バ | マ | コ  |
| ー | ー | ン | ー  |
| ト | ー | シ | ー  |
| ハ | コ | コ | ハ  |
| イ | ー | ー | ー  |
| メ | メ | レ | セ  |
| ー | ン | ジ | ン  |
|   |   | ン | ター |

・勤務先、学校名は正式名で記入する  
・株式会社、有限会社などの表現は、それぞれ省略し、注)のように1マスに記入する  
ただし、カナ記入欄は省略する

|             |        |                              |   |       |      |
|-------------|--------|------------------------------|---|-------|------|
| 入会適用年月      |        | H                            | 年 | 月     | 会員番号 |
| 会員種別        |        | 1. 名誉会員 (2) 正会員 3. 学生会員      |   |       |      |
| 氏名(カナ)      |        | イケダ ミナミ                      |   |       |      |
| 氏名(漢字)      |        | 池田 南                         |   |       |      |
| 性別          |        | 1. 男 (2) 女                   |   |       |      |
| 生年月日        |        | 1937年01月01日                  |   |       |      |
| 通信区分        |        | 1. 自宅 (2) 勤務先(個人) 3. 勤務先(一括) |   |       |      |
| 自宅          | 住所     | 〒105- 東京都港区芝公園3-5-8 振興会308号  |   |       |      |
|             | 電話番号   | 03-3431-2808                 |   |       |      |
| 勤務先または学校所在地 | 住所     | 〒106- 東京都港区麻布台スー4-ス 保科ビル3F   |   |       |      |
|             | 電話番号   | 03-3505-0505                 |   |       |      |
| 在学          | 名称(カナ) | ジヨウボウシヨリガツカイ                 |   |       |      |
|             | 名称(漢字) | 社情報処理学会                      |   |       |      |
|             | 所属(カナ) | ソフトウェアカイハツ0A1カ               |   |       |      |
|             | 所属(漢字) | ソフトウェア開発部0A1課                |   |       |      |
| 役職名         |        |                              |   |       |      |
| コード         | 機関     | グループ                         |   | 申込書受付 |      |
|             | 支部・県   |                              |   | 入金    |      |

\*裏面も記入してください。

注) 株式会社—(株) 合資会社—(資) 社団法人—(社) 有限会社—(有)  
財団法人—(財) 協同組合—(協) 合名会社—(名) 特殊法人—(特)

- ・最終学歴を記入する（卒業予定者も含む）
- ・大学院に進まれた方は、修士課程、博士課程を併記のこと

卒業（予定）年月も記入する

の提携学  
IEEE) の  
受取るこ  
否につい  
る

計を必ず

署名、  
ない  
その旨  
に記

|                     |                                                                            |          |                |        |         |                      |    |   |   |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------|----------------|--------|---------|----------------------|----|---|---|
| 学 歴 I<br>(卒業予定含む)   | 学校名                                                                        | 東京大学     | 卒年月I<br>(予定)   | S      | 60      | 年                    | 03 | 月 | ✓ |
|                     | 学部名                                                                        | 工学部      | 学科名            | 電子工学科  |         |                      |    |   |   |
| 学 歴 II<br>(卒業予定含む)  | 大学名                                                                        | 東京大学     | 卒年月II<br>(予定)  | H      | 62      | 年                    | 03 | 月 | ✓ |
|                     | 研究科名                                                                       | 工学研究科    | 専攻名            | 情報工学専攻 |         |                      |    |   |   |
| 学 歴 III<br>(卒業予定含む) | 大学名                                                                        | 東京大学     | 卒年月III<br>(予定) | S      | 02      | 年                    | 03 | 月 | ✓ |
|                     | 研究科名                                                                       | 工学研究科    | 専攻名            | 情報工学専攻 |         |                      |    |   |   |
| 学校区分                | 1. 大学 2. 短大 3. 高専 4. 専門 5. 各種学校 6. 高校                                      |          |                |        |         |                      |    |   |   |
| 博士号                 | ① 工学 2. 理学 3. Ph.D 4. その他 ( )                                              |          |                |        |         |                      |    |   |   |
| 希望購読誌               | A. 論文誌 B. 欧文誌                                                              |          |                |        |         |                      |    |   |   |
| メール                 | ① 要 1. 不要                                                                  |          |                |        |         |                      |    |   |   |
| バックナンバ<br>希 望       | 年 月号より                                                                     |          |                |        |         |                      |    |   |   |
| 他の学会への<br>在 会 状 況   | 1. 電気学会 2. 電子情報通信学会 3. 照明学会 4. テレビジョン学会 ※<br>5. その他 ( 日本ソフトウェア科学会・人工知能学会 ) |          |                |        |         |                      |    |   |   |
| 送 金 方 法             | 入会金                                                                        | 2000 円   |                |        | 送 金 方 法 | 1. 現金持参              |    |   |   |
|                     | 会 費                                                                        | 9,600 円  |                |        |         | 2. 現金書留 ※※           |    |   |   |
|                     | 論文誌                                                                        | 4,500 円  |                |        |         | 3. 郵便振替              |    |   |   |
|                     | 欧文誌                                                                        | 円        |                |        |         | ④ 銀行振込 ( 太陽神戸三井 銀行 ) |    |   |   |
|                     | 合 計                                                                        | 16,100 円 |                |        |         |                      |    |   |   |
| 紹 介 者               | 正会員 落合達也 ( 印 )                                                             |          |                |        |         |                      |    |   |   |

有料の機関誌購読  
希望の方は記入す  
る  
購読費について  
は、『4. 入会の手  
続き』参照のこと

年度中途の入会者  
で当該年度のバック  
ナンバを希望する  
方は記入する  
(残部のある場合  
のみ送付)

銀行振込の場合に  
は、必ず送金先学  
会取扱銀行名を記  
入する

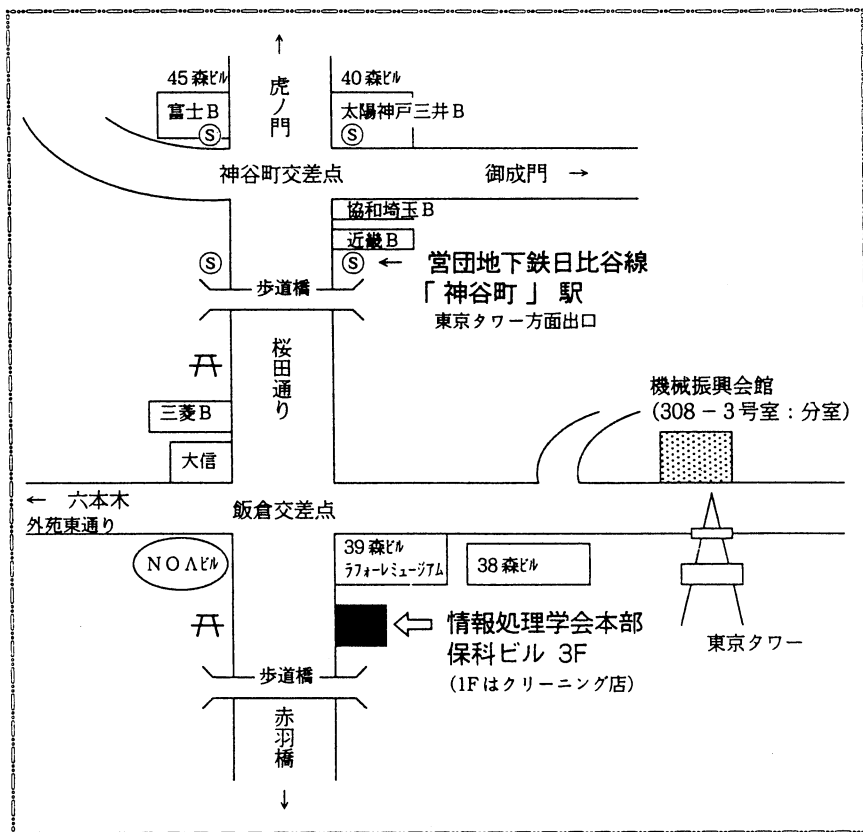
～ メ モ 欄 ～

※ 1. 2. 3. 4. の各学会の会員で、在会証明書を入会申込書に添付した場合には、  
入会金の納入を免除します。

※※

- 取扱銀行 (いずれも普通預金口座)
- 郵便振替口座 東京 5 - 83484
- 第一勧銀 虎ノ門支店 1013945
- 三菱銀行 虎ノ門公務部 0000608
- 住友銀行 東京公務部 10899
- 富士銀行 虎ノ門支店 993632
- 三和銀行 東京公務部 21409
- 太陽神戸三井銀行 東京営業部 4298739
- 送 金 先
- (社) 情報処理学会
- 〒106
- 東京都港区麻布台2-4-2
- 保科ビル3F
- ☎ (03) 3505 - 0505

## 情報処理学会の本部・支部



**本部** ☎106 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル 3階

**☎ (03) 3505-0505**

分室(規格) ㊦105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3号

**☎ (03) 3431-2808**

北海道支部 ☎060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内

**☎ 011-716-2111 (6819)**

東北支部 ☎980 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学大型計算機センター内

☎ 022-227-6200(3435)

中部支部 ☎460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル

NTT データ通信(株)東海支社内

**☎ 052-204-4517**

**関西支部** ☎530 大阪府大阪市北区梅田1-20 大阪駅前第一ビル8F

(財)関西情報センター気付

**☎ 06-346-2543**

中国支部 724 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第二類(電気系)内

☎ 0824-22-7111 (3443)

四 国 支 部 ☎790 愛媛県松山市大手町1-11-1 愛媛新聞千代田生命ビル

四国日本電気ソフトウェア(株)内

☎ 0899-47-3721

九州支部 ☎812 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学工学部中央計数施設内

☎ 092-641-1101 (5985)

|     |      |                      |      |                      |       |     |
|-----|------|----------------------|------|----------------------|-------|-----|
| コード | 機 関  | <input type="text"/> | グループ | <input type="text"/> | 申込書受付 | 入 金 |
|     | 支部・県 | <input type="text"/> |      | <input type="text"/> |       |     |

\*裏面も記入してください。



学 会 誌

この用紙を使ってご意見をお寄せください

宛 先: F A X 03 (3584) 7925 (本用紙を含む送信枚数 枚)  
住 所 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
情報処理学会 学会誌編集係 御中

発信者: (ご芳名) \_\_\_\_\_ (会員番号) \_\_\_\_\_  
(ご所属) \_\_\_\_\_ (電話番号) \_\_\_\_\_

- \*評価は次の5段階でご記入ください。
5. 非常に良い    4. 良い    3. 普通／なんともいえない    2. 悪い    1. 非常に悪い
- 〔1〕 学会誌の改善についてのご意見やご提案がありましたら自由にお書きください。  
「編集室」に掲載することがあります。その場合 ☐実名可, ☐匿名希望, ☐掲載不可
- 〔2〕 今月号 (1991年9月号) の記事の中であなたが読まれた記事及び今月号全般についてのあなたの評価をご記入ください。

特集「高水準データモデルの最近の研究動向」

- 高水準データモデルーポスト・リレーショナルをめぐるデータモデルの研究動向.....
- システム開発パラダイムと高水準データモデル.....
- 意味データモデルの最近の動向.....
- オブジェクト指向データベース.....
- 1991年9月号全般についての評価.....

| 評 価    |                  |        |
|--------|------------------|--------|
| 総<br>合 | 分<br>り<br>易<br>さ | 内<br>容 |
|        |                  |        |
|        |                  |        |
|        |                  |        |
|        |                  |        |
|        |                  |        |